

令和5年度 第2回世田谷区立図書館運営協議会 次第

日時 令和5年10月25日(水) 午後6時30分～

場所 教育会館3階大会議室「ぎんが」

1 第3次世田谷区立図書館ビジョン(素案)について

2 各館取組みシートに基づく評価・検証について

3 その他(事務連絡)

次回開催予定 日時：令和6年1月
会場：教育会館3階 大会議室「ぎんが」

○配付資料

- ・次第
- ・【資料1】第3次世田谷区立図書館ビジョン(素案) 概要版
- ・【資料2】第3次世田谷区立図書館ビジョン(素案)
- ・【資料3】第3次世田谷区立図書館ビジョン(素案)に伴う協議会からの意見反映等一覧
- ・【資料4】令和5年度 世田谷区立図書館運営協議会 各館取組みシート
- ・【資料5】世田谷区立図書館の特色等一覧表
- ・【資料6】令和4、3年度 年度事業実績等(世田谷のとしょかんより抜粋)
- ・【資料7】世田谷区立図書館 位置図

○参考資料

- ・第2次世田谷区立図書館ビジョンに対する令和4年度世田谷区立図書館運営協議会からの意見等一覧
- ・第2次世田谷区立図書館ビジョン第3期行動計画
- ・令和5年度版 世田谷のとしょかん
- ・令和4年度 世田谷区立図書館についてのアンケート調査結果

第3次世田谷区立図書館 ビジョン(素案) 概要版

教育委員会事務局

第3次世田谷区立図書館ビジョンの構成案

第1章 世田谷区立図書館ビジョンの概要

- 1 世田谷区立図書館ビジョンの目的
- 2 図書館ビジョン改定の背景
- 3 計画の位置づけ
- 4 計画の期間

第2章 世田谷区立図書館の現状

- 1 区立図書館の概要
- 2 第2次図書館ビジョンにおける主な取り組み
- 3 第2次図書館ビジョンの評価
- 4 図書館運営体制に関する振り返り

第3次世田谷区立図書館ビジョンの構成案

第3章 第3次図書館ビジョンの基本的考え方

- 1 基本理念
- 2 第3次図書館ビジョンの3つの視点

第4章 第3次図書館ビジョンの事業方針

- 1 施策体系
- 2 事業方針 - 利用者の視点を重視した図書館サービスの構築

第3次世田谷区立図書館ビジョンの基本理念

[基本理念]

知と学びと文化の情報拠点

図書館の公共性の観点に立ち、子どもが本に親しみ、豊かな精神的成長を助けるとともに、大人の知的欲求と学習意欲に応えます。さらに、読書や地域文化の情報収集と発信を通じて世田谷の魅力を見出し、それらの活動や文化の担い手となるコミュニティの醸成につながる交流の場所、地域に開かれた知的な居場所を目指します。

第3次世田谷区立図書館ビジョンの3つの視点

○生涯を通じた知や学びへの支援

人生100年時代が到来します。子どもから大人まで生涯にわたって豊かな人生を送れるよう、あらゆる世代が本に親しみ、それぞれの学習意欲や知的欲求に応える取り組みを支援していきます。特に子どもは、未来の世田谷を支える主体であり、彼らの成長こそ、次世代の世田谷の可能性を切り拓きます。子どもが読書の楽しさや知識や情報の大切さを知り、本に親しみながら創造性を育み、また、想像力を養うことができるよう、そのための機会や環境を提供します。ICT技術の進歩により、図書や雑誌については、紙資料から電子資料への普及が進む中で、ICT技術を活用した図書館サービスの拡充に努めて、全ての利用者が利用しやすい図書館を目指して行きます。

○地域文化とコミュニティ

私たちは地域の中で、様々な人や機関とのつながりの中で社会生活をおくっています。また、地域は歴史を持っており、私たちも地域の記憶を持ち、過去とのつながりを感じながら生活しています。人々が地域を知り、地域に愛着を感じ、さらに地域の人々とのつながり協力しあって生きていくことは、持続可能な地域社会を作っていくうえで極めて重要です。図書館は、地域の文化を支え、地域のつながりづくりに努めます。

○社会的包摂

社会は多様な人々によって構成されており、今日、その全ての人が、その人らしく、また、その個性を生かして、参画していけるような社会となることが求められています。人々がお互いに理解し合い協力し合うためには、知識や情報の共有及び考え方の相互理解が不可欠です。図書館は、様々な特性を持った方々に対して、その状況に応じた資料及びサービスの提供を行い、暮らしや学びに必要な知識や情報、社会生活や社会活動のための知識や文化、教養等を共有するための社会基盤として機能し、人々を包摂する共生社会の実現に貢献します。

第3次世田谷区立図書館ビジョンの基本方針

基本方針1 求められた知識・情報を確実に提供する図書館

仕事や暮らしの中で生じた問題・課題の解決のために必要な資料・知識・情報を提供します。提供にあたっては、図書・雑誌等の紙の資料だけでなく、電子形態の資料やオンラインデータベースを始めとしたネットワーク上に存在する情報源など様々な情報メディアを導入・活用し、問題・課題の解決のために有用な文献等を探し出し提供します。また、教養、レクリエーションのための読書、楽しみとしての読書も支援し、様々な資料を幅広く提供し、人々の文化的活動を豊かにすることを目指します。人々の関心にあった時期に応じたテーマのイベント等を開催し、人々の「知る」、「考える」、「学ぶ」、を応援します。

- (1) 課題解決支援など調査研究支援
- (2) 電子書籍ほか様々な情報メディアの収集・提供
- (3) 多様で豊かな学びの支援

第3次世田谷区立図書館ビジョンの基本方針

基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館

子どもにとって、楽しい、居心地のいい場所としての図書館を目指します。様々な活動ができ、気軽に立ち寄ることができ、また心安らかに時間を過ごせる場となるよう努めます。様々なきっかけを通じて子どもたちが図書館及び本と出会い、本を読む楽しさや大切さ、学び成長する楽しさを感じる機会を増やし、生涯にわたる読書習慣や学ぶ姿勢を身に着けることができるように支援します。学校及び学校図書館と連携し、学校に必要な資料・情報を公共図書館から支援するとともに、学校以外の様々な子ども関連施設・機関とも連携し、子どもたちの成長を支え読書を広げます。

- (1) 子どもが本に出会う機会を広げる
- (2) 読みづらさを抱える子どもに対するサービス
- (3) 中高生世代の居場所となりその成長を支える取り組み
- (4) 学校図書館との連携、役割分担の明確化

第3次世田谷区立図書館ビジョンの基本方針

基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館

図書館が立地している地域の特徴を踏まえ、それを活かしたコレクションやイベント等を進めます。一人でも誘い合っても気軽に立ち寄れ、また、地域の人々の協力により様々な魅力的なイベント等が行われ、人の交流が生まれ、その結果、図書館がつながりの場として機能することを目指します。地域資料の収集はもちろん、地域の人々や様々な機関との協力・連携を得ながら資料化されていない記録や記憶の収集、公開などを検討していきます。

- (1) 地域の特色に対応した資料の収集
- (2) 地域活動団体との連携・協働
- (3) 居心地の良い知的刺激のあふれる施設づくり

第3次世田谷区立図書館ビジョンの基本方針

基本方針4 それぞれの特性に対応した、多様な人々を包摂する図書館

印刷された文字の資料は利用しにくい、また日本語が母語でなく日本語の読解が困難など、多数の人々向けの資料やサービスだけでは十分に図書館を利用できない方々のために、それぞれの方の事情に対応した資料やサービスの提供を進めます。また、情報社会が進化するなかで、いわゆるデジタル機器を上手く使いこなせない方を支援し、情報社会に対応するためのスキルや活用する力の獲得を支援します。様々な特性を持った全ての人々が特別な負担を感じることなく自由に利用できる図書館を目指します。

- (1) 障害があっても利用しやすい資料とサービスの提供
- (2) 日本語以外を母語とする人々に対するサービス
- (3) デジタル機器を上手く使いこなせない方への対応

第3次世田谷区立図書館ビジョンの基本方針

基本方針5 図書館DXとリモートサービスの推進

図書館利用の利便性を高め多くの区民に利用してもらえるよう手続きのデジタル化を進め、サービス改善に取り組みます。図書館ホームページを改善し、様々な資料を探し、ホームページから利用できるサービスを増やします。また、図書館まで来なくても資料を受け取れるサービスをさらに発展させることを目指します。AIなど新しい技術の発展に注目し、その活用を検討します。

- (1) 非来館型図書館サービスの充実
- (2) 図書館利用の利便性の向上
- (3) 次世代図書館情報システムの機能検討

第3次世田谷区立図書館ビジョンの基本方針

基本方針6 専門性と効率性を両立した運営体制

職員研修を強化し、職員の専門的能力を高める取り組みを進めるとともに、図書館のマネジメント機能や能力を強化し、計画の実行力を高めます。図書館運営協議会において利用者ニーズに即した図書館運営サービスの評価・検証も踏まえながら、今後の図書館運営の在り方を検討します。また、その前提となる評価指標についても検討していきます。

- (1) 図書館運営に関する高い専門性の確保
- (2) 効率的効果的な図書館運営の在り方
- (3) 事業・運営の指針・目標の設定

第 3 次世田谷区立図書館ビジョン

知と学びと文化の情報拠点

《素案》

令和 5 年 8 月

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 第1章 世田谷区立図書館ビジョンの概要 | 1 |
| 1 世田谷区立図書館ビジョンの目的 | 1 |
| 2 図書館ビジョン改定の背景 | 1 |
| 3 計画の位置づけ | 3 |
| 4 計画の期間 | 3 |
| 第2章 世田谷区立図書館の現状 | 4 |
| 1 区立図書館の概要 | 4 |
| 2 第2次図書館ビジョンにおける主な取り組み | 4 |
| 3 第2次図書館ビジョンの評価 | 5 |
| 4 図書館運営体制に関する振り返り | 6 |
| 第3章 第3次図書館ビジョンの基本的考え方 | 8 |
| 1 基本理念 | 8 |
| 2 第3次図書館ビジョンの3つの視点 | 9 |
| 第4章 第3次図書館ビジョンの事業方針 | 10 |
| 1 施策体系 | 10 |
| 2 事業方針 - 利用者の視点を重視した図書館サービスの構築 | 13 |

第1章 世田谷区立図書館ビジョンの概要

1 世田谷区立図書館ビジョンの目的

世田谷区立図書館ビジョンは、世田谷区の未来を展望しつつ、図書館を取巻く状況の変化を踏まえ、区民の期待や要望に的確に応え、世田谷区における知識・情報・文化の拠点としての図書館をより一層充実・発展させるための、図書館サービスの基本方針を示す計画です。

平成27年に策定された第2次世田谷区立図書館ビジョン（以下、「第2次図書館ビジョン」）は、当時の世田谷区基本計画や第2次世田谷区教育ビジョンに基づき「知と学びと文化の情報拠点」という基本理念を掲げ、図書館運営の改善に取り組んで来ました。第3次世田谷区立図書館ビジョン（以下、「第3次図書館ビジョン」）は、新たに策定される世田谷区教育振興基本計画に基づき、これまでの成果と課題を踏まえ、新たな図書館像を実現する5年間の計画として策定されるものです。

2 図書館ビジョン改定の背景

これまで、世田谷区立図書館は、第1次世田谷区立図書館ビジョン、第2次図書館ビジョンに基づき、図書館に蓄積された情報や知を、区民ニーズに対応し、より柔軟に提供できるよう新たな図書館機能の整備をはじめ、中央図書館、地域図書館等からなる図書館ネットワークを構築してきました。また、資料の充実、ICTの活用、文化施設や区内大学との連携を深め、区民の課題や学びによる生活の質を高める知と学びの文化の情報拠点を目指してきました。

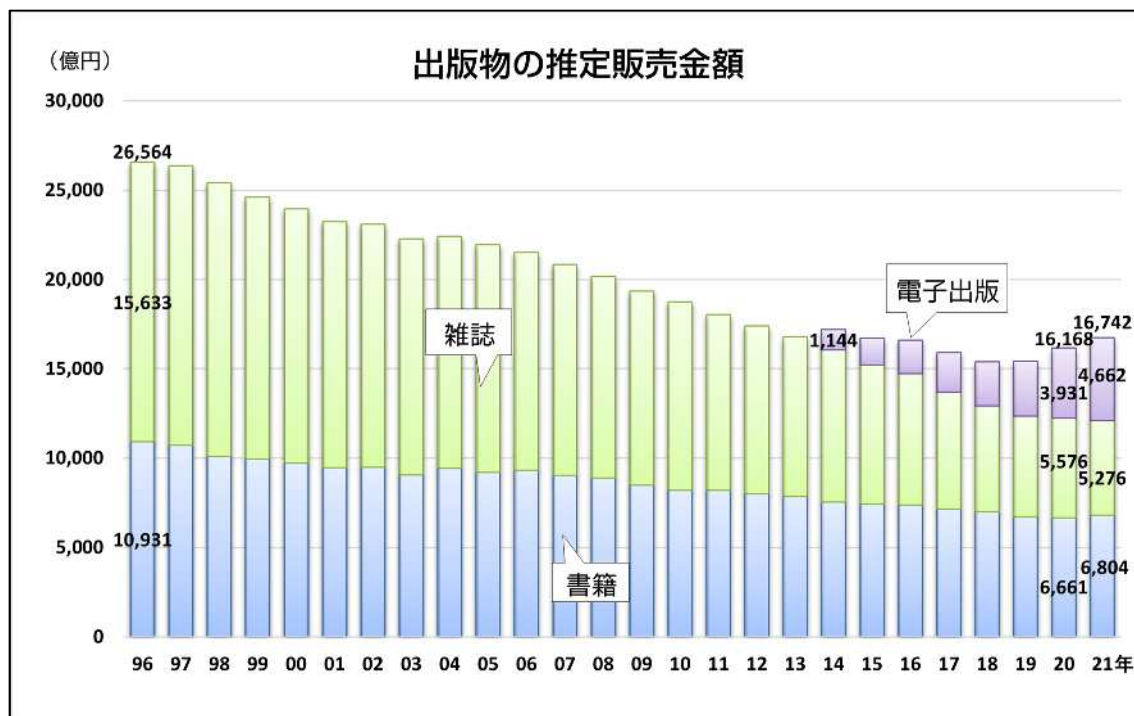
一方、第2次図書館ビジョン策定時に比べ、図書館を取り巻く状況は大きく変化しました。

ICT技術の進展により、情報メディアや情報流通の仕組みは大きく変化し、今日、知識や情報は、インターネットを始めとした様々なルートを通じて社会に広がり利用されるようになってきました。

出版市場全体の売り上げについても大きく変化しており、インターネットやスマートフォンの普及に伴い、雑誌の売り上げは減少傾向にあり、電子出版の売り上げは増加しています。この状況の中で、人々に必要とされる情報や知をどのように提供すべきなのか、新たな方策が図書館には求められています。さらに新型コロナウイルス感染拡大により図書館が休館となる中、来館しなくてもそのサービスを利用できる方策が求められてきました。

このように新しい図書館の在り方が模索される中であっても、人々が図書館に寄せる信頼感や読書を楽しみたいと思う素朴な思いは変わりません。また、多様な属性を持った人がその特性に応じた資料及びサービスの提供を受けられるべき、という意識もますます高まっています。

図書館を取り巻く状況の変化をとらえながら、これからの社会、これからの世田谷において求められる図書館像とその実現を支える手立てを構想することが、今、必要となっています。



出典：「出版指標 年報 2022年版」

3 計画の位置づけ

第3次図書館ビジョンは、次期世田谷区基本計画（骨子）の重点政策である「子ども・若者が笑顔で過ごせる環境の整備」「新たな学校教育と生涯を通じた学びの充実」及び「多様な人が出会い、支え合い、活動できるコミュニティの醸成」を踏まえ、それらの実現の一翼を担う計画となります。また、新たな教育ビジョンである「世田谷区教育振興基本計画」において定められた「生涯にわたってともに学び成長し続ける方針」に基づき、「知と学びと文化の情報拠点としての図書館の充実」のため、新たな図書館サービスを推進する計画として位置づけます。

第3次図書館ビジョンでは、これまで取り組んできた施策をさらに拡充するとともに、誰もが利用しやすいサービスを意識しながら、それぞれの特性に対応した、多様な人々を包摂するためのサービスの充実を図ります。

4 計画の期間

第3次図書館ビジョンの計画期間は、これまでの図書館ビジョンの上位計画として教育ビジョンが存在しており、計画期間も教育ビジョンに合わせた10年間の計画期間としていました。今回は、上位計画である「世田谷区教育振興基本計画」の計画期間が5年間となったため、これに倣って第3次図書館ビジョンの計画期間も、5年間とします。

| 令和 6年度 | 令和 7年度 | 令和 8年度 | 令和 9年度 | 令和 10年度 |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 第3次世田谷区立図書館ビジョン | | | | |
| (仮称)世田谷区教育振興基本計画 | | | | |

第2章 世田谷区立図書館の現状

1 世田谷区立図書館の概要

世田谷区では、中央図書館と地域図書館15館、地域図書室5室、図書館カウンター3か所を展開しています。令和3年度には、尾山台・上北沢・鎌田・烏山図書館におけるセルフ貸出機の設置、また、令和4年3月より図書館カウンター下北沢を開設するなど地域の特性やニーズにあった図書館づくりに取り組んできました。令和4年4月1日からは経堂図書館に加え烏山・下馬図書館にて指定管理者による管理運営を開始しました。各図書館・図書室は、徒歩15分(半径1km)の範囲を一館あたりのサービス圏として、概ね区全域を網羅するように設置しています。

令和4年度末時点での世田谷区立図書館の全体の資料数は、合計で208万点です。このうち児童図書は54万7千点、CD等の音響資料は、5万4千点、録音図書や点字本といった障害者サービス資料は、9千点です。また、世田谷区立図書館の利用登録者数は、26万人です。このうち、児童の登録者数は、4.4万人、障害者サービスの利用登録者は465人です。

図書館情報システムは、世田谷区立図書館16館と地域図書室5室、及び図書館カウンター3館を相互に結び、利用登録や資料情報を一元管理しています。各館で収集、保存している資料を図書館利用者がどの図書館でも利用できるシステムとなっています。

2 第2次図書館ビジョンにおける取り組み

第2次図書館ビジョンでは、「知と学びと文化の情報拠点」という基本理念を定め、その実現に向け、「0歳児からの読書を支える図書館」、「大人の学びを豊かにする図書館」、「暮らしや仕事に役立つ図書館」、「世田谷の魅力を収集・発信する図書館」の4つの基本方針と「図書館ネットワークの構築」、「専門性と効率性を両立した運営体制の構築」の2つの運営方針に基づき、それぞれの事業に取り組んできました。

10年間の長い計画期間の間に2年～4年程度の具体的な事業項目と、第1期、第2期、第3期行動計画を策定し、図書館サービスの充実に努めてきました。特に、第1期行動計画では、6つの基本方針や取り組み項目を踏まえ、横断的に取り組む事業を定めました。

第2期行動計画では、特に重点的に推進する5つの重点プロジェクトを定め、力点を置いて取り組んできました。

第3期行動計画では、第2次図書館ビジョンの6つの基本方針や取組項目を踏まえるとともに、「世田谷区立図書館運営体制あり方検討委員会報告書」に基づく3つの取り組みの柱の方針等も踏まえ、中央図書館のマネジメント機能を強化し、図書館の公共性と専門性を維持しながら民間を活用した運営体制等の構築を目指すこととしました。特に重点的に推進する4つの重点プロジェクトと1つの視点を定め、取り組んでまいりました。

第2次図書館ビジョンで実施された主な取り組みは以下のとおりです。

(1) 子どもサービスの推進に向けた図書資料の充実

子どもの読書活動を支援する取り組みを継続して、絵本、児童資料、中高生世代向き資料の収集に努め、絵本、児童資料については、長く読み継がれている基本図書の充実を進めました。また、視覚障害など配慮を要する子どもの読書のため、バリアフリー図書やマルチメディアデジターなどの資料の充実を図ってきました。

(2) 図書資料等の充実と区民の情報をつなぐサービスの推進

利用者からの要望が多いのは蔵書・資料の充実です。図書館サービスの根幹をなす図書資料等の充実に継続的に取り組んできました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、臨時休館等を教訓に、来館を前提としたサービスを見直し、電子書籍サービスの拡充につとめてきました。

(3) 課題解決支援のためのサービスの拡充

図書館のレファレンスは、日々の暮らしや健康、仕事、地域の課題などに対して有効な図書資料等や情報を提供するもので、図書館の重要な機能です。中央図書館による地域図書館等への支援体制を整備するため、専門的で多様な調べものに対応できるコレクションづくりや商用データベースの充実、国立国会図書館レファレンス協同データベースの参加・活用を図ってきました。また、区の政策立案や行政サービス検討等に伴う、庁内各所管課からのレファレンスなどの行政支援サービスに取り組みました。

(4) 図書館ネットワークを整備する

令和4年3月に、資料の予約や貸出・返却を中心としたサービスを行う図書館カウンターを、二子玉川・三軒茶屋に続き下北沢に開設しました。また、セルフ貸出機の設置などにより、貸出の際の時間短縮やプライバシー保護などの利用者の利便性の向上や、蔵書点検時間短縮による資料管理の効率化等を目的に梅丘図書館を除く全図書館施設へのICタグ及び関連機器導入を進めました。

3 第2次図書館ビジョンの評価

第2次図書館ビジョンの取り組みに対しては、世田谷区立図書館運営協議会によって令和4年度に世田谷区立図書館全体に対しての評価・検証を行いました。

その評価・検証は「令和4年度世田谷区立図書館運営協議会からの意見等一覧」として、第3次図書館ビジョン策定検討委員会に報告されました。

第3次世図書館ビジョンには、報告された意見等を踏まえてを検討しています。

この関連性・相関性によって、「PLAN」である図書館ビジョンと「DO」である図書館の運営、さらに図書館協議会による評価・検証の「CHECK」、さらに新しい図書館ビ

ビジョン策定に対しての報告が「ACTION」と位置付けられ、図書館運営におけるPDCAサイクルが実現できたと考えられます。

4 図書館運営体制に関する振り返り

第2次図書館ビジョンの計画期間（平成27年度～令和5年度）において区立図書館はこれまで直接運営（直営）としていた運営を一部民間活用に移行するといった転換期を迎えることになりました。

第2次図書館ビジョンでは、6つの基本方針の一つに「専門性と効率性を両立した運営体制の構築」を掲げ、多様化する区民ニーズを的確に捉え、図書館サービスをより一層の充実を進めるために必要な職員の専門性を高めるとともに、民間活力を計画的に導入すると決めました。

また、第2期行動計画（平成30年～平成33年度）では、4年間の計画期間において5施設の地域図書館等の新規活用・更新を進めると定められました。

第2期行動計画の終了する令和4年3月末時点で、経堂図書館（平成29年）へ指定管理者制度が導入され、世田谷図書館（平成28年）、梅丘図書館（平成31年）の2館に一部業務委託が実施されました。さらに、令和4年4月より烏山図書館・下馬図書館へ指定管理者制度が導入され、5館の区立図書館で民間活用が図られています。

民間活用と並行して、区では、学識経験者や公募による区民等を構成員とする世田谷区立図書館運営体制あり方検討委員会（以下「検討委員会」という。）を令和2年に設置し、区立図書館の運営状況等に関して、民間の評価機関による分析・評価報告等を踏まえ、図書館運営の現状と課題、目指すべき方向性を検討し、令和3年3月に報告書を取りまとめました。

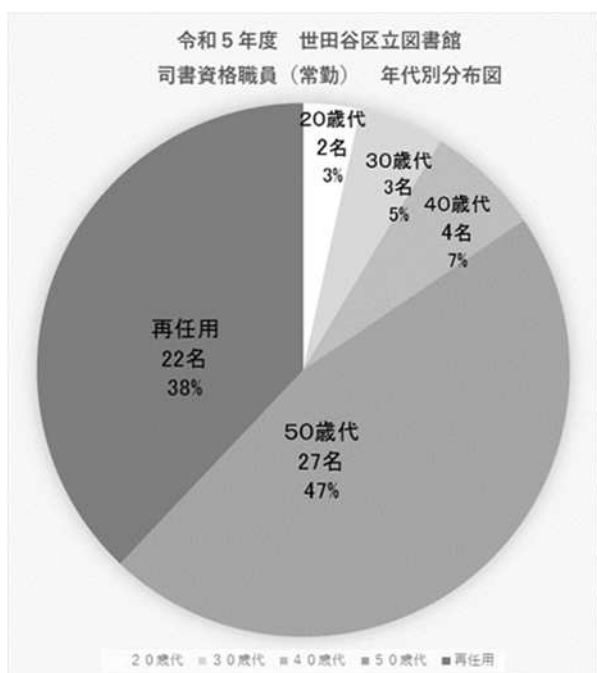
あり方検討委員会報告書における区立図書館の運営体制案

| 種別 | 運営体制案 |
|-------|--|
| 中央図書館 | 区立図書館全体の統括・調整機能を担い、マネジメント力を強化するため、「直営」とするべきであると考えます。 |
| 地域図書館 | 「直営」が原則であると考えます。ただし、民間事業者のノウハウやスピード感等を活かし、地域特性や利用者ニーズに応じ、自由度の高い図書館サービスの充実を図る必要がある場合は、図書館の規模や来館者数、地域資源の利用可能性など、施設環境を勘案して「指定管理者制度」の順次、導入を選択肢として検討することが考えられる。 |

令和4年度には、検討委員会で提言のあった区民や学識経験者等が、図書館運営やサービス水準をチェックしていくガバナンス機能を担う世田谷区立図書館運営協議会（以下「図書館運営協議会」という。）を発足し、全区立図書館の評価検証を行っています。

今後の区立図書館の新たな民間活用に関しては、この間の検討結果や、図書館運営協議会における図書館の評価検証を踏まえるとともに、我が国における生産年齢人口の減少、新型コロナウイルス感染症収束後の人手不足といった国内労働者を取り巻く環境など、図書館運営の持続性の視点から注視していく必要があります。

一方で、公立図書館の中核を担う直営の区立図書館においては、人材育成が課題であると指摘されており、司書資格者についても、将来的に減少が見込まれ、人材育成にとどまらず、効果的な人材確保について検討すべき時にきています。



司書資格職員（常勤職員）退職予定者推移

| 年度 | 退職予定者数 |
|--------|--------|
| 令和5年度 | 1名 |
| 令和6年度 | 6名 |
| 令和7年度 | 4名 |
| 令和8年度 | 6名 |
| 令和9年度 | 5名 |
| 令和10年度 | 4名 |

令和5年度の有資格者の年齢構成では、50歳代が全体の47%を占め、再任用職員を合わせると、85%となっており、年齢層が高いことが分かります。計画期間における退職数は、5年間で26名となっているため、有資格者を一定数確保しなければ、図書館の質の維持は困難な状況となります。

なお、利用者アンケートにおける民間活用を導入した5館の評価（満足度）は、いずれの館も60%を超えており、満足度は高い状況にあります。また、直営館及び図書館カウンターにおいても、満足度は60%を超えており、直営、民間活用併用による図書館運営は一定の評価を得ているものと考えられます。

そのため、第3次図書館ビジョンの計画期間中における民間活用の導入にあたっては、この間の検討委員会の指摘事項や、図書館運営協議会による各館の評価検証のほか、労働環境、区職員のスキル、図書のデジタル化等、様々な視点も踏まえ、民間活用を導入する地域図書館数や対象館、その移行時期を適宜適切に決定し、導入を計画するに至った経緯を含めて区民や利用者に分かりやすく説明していく必要があります。

第3章 第3次図書館ビジョンの基本的考え方

1 基本理念

「知と学びと文化の情報拠点」

第3次図書館ビジョンにおいて、第1次ビジョン、第2次ビジョンに引き続き「知と学びと文化の情報拠点」を基本理念と定めます。その趣旨は次の通りです。

知と学びと文化の情報拠点

図書館の公共性の観点に立ち、子どもが本に親しみ、豊かな精神的成長を助けるとともに、大人の知的欲求と学習意欲に応えます。さらに、読書や地域文化の情報収集と発信を通じて世田谷の魅力を見出し、それらの活動や文化の担い手となるコミュニティの醸成につながる交流の場所、地域に開かれた知的な居場所を目指します。

図書館は、地域の全ての人々に対して資料、知識、情報を提供し、人々が学び、自分の世界と可能性を広げ、また抱える問題・課題を解決し、よりよく生きていくことを支援する機関です。それは、人々の知る自由を保障することによって民主的な社会を支えると同時に、人々の知識・情報の利用・活用を支援することによって健全な知識社会の形成に寄与します。

また、人々の創造性、想像力、知的好奇心や共感を刺激することにより、感動や充実感を与え、成長の機会を提供します。

世田谷区は、次期基本計画実行の指針としてSDGsの推進を掲げています。もとより図書館は、SDGsが示す教育、平等、公正さなどを追求する機関であり、世田谷区のSDGs推進にとって有力な機関です。

世田谷区立図書館は、区民一人ひとりが、よりよい、より持続可能な未来を築くこと、この第3次図書館ビジョンを通じて、図書館がそのための「知」と「学び」と「文化」のための情報拠点となることを目指します。

2 第3次図書館ビジョンの3つの視点

第3次図書館ビジョンの

3つの視点

図書館ビジョンにおける「視点」とは、計画の策定及び遂行において関心を持ち重視する生活領域や社会課題です。計画の遂行によって、これらの領域や課題をめぐる状況の改善や向上に貢献することを目指します。

第3次図書館ビジョンの視点は、次の3つとします。

「生涯を通じた知や学びへの支援」

人生100年時代が到来します。子どもから大人まで、生涯にわたって豊かな人生を送れるよう、あらゆる世代が本に親しみ、それぞれの学習意欲や知的欲求に応える取り組みを支援して行きます。特に子どもは未来の世田谷を支える主体であり、彼らの成長こそ、次世代の世田谷の可能性を切り拓きます。子どもが読書の楽しさや知識や情報の大切さを知り、本に親しみながら創造性を育み、また、想像力を養うことができるよう、そのための機会や環境を提供します。ICT技術の進歩により、図書や雑誌については、紙資料から電子資料への普及が進む中で、ICT技術を活用した図書館サービスの拡充に努めて、全ての利用者が利用しやすい図書館を目指して行きます。

「地域文化とコミュニティ」

私たちは地域の中で、様々な人や機関とのつながりの中で社会生活をおくっています。また、地域は歴史を持っており、私たちも地域の記憶を持ち、過去とのつながりを感じながら生活しています。人々が地域を知り、地域に愛着を感じ、さらに地域の人々とつながり協力しあって生きていくことは、持続可能な地域社会をつくっていくうえで極めて重要です。図書館は、地域の文化を支え、地域のつながりづくりに努めます。

「多様性と共生社会」

社会は多様な人々によって構成されており、今日、その全ての人がある人らしく、また、その個性を生かして、参画していけるような社会となることが求められています。人々が、お互いに理解し合い協力し合うためには、知識や情報の共有及び考え方の相互理解が不可欠です。図書館は、様々な特性を持った方々に対して、その状況に応じた資料及びサービスの提供を行い、暮らしや学びに必要な知識や情報、社会生活や社会活動のための知識や文化、教養等を共有するための社会基盤として機能し、人々を包摂する共生社会の実現に貢献します。

第4章 第3次図書館ビジョンの事業方針

1 施策体系

基本理念及び視点を受け、基本方針の下に、今後具体的に進めていく事業方針として「施策の方向性」「取組項目」を体系的に設定します。

施策体系

| 事業方針 | | |
|--------------------------|------------------------------|-------------------------------------|
| 基本方針 | 施策の方向性 | 取組項目 |
| 1. 求められる知識・情報を確実に提供する図書館 | (1) 課題解決支援など調査研究の支援 | 調べものに有効なコレクションの構築と提供 |
| | | 調査に有効なりモト情報源の活用検討 |
| | | レファレンスサービスの強化 |
| | (2) 電子書籍ほか様々な情報メディアの収集・提供 | 電子書籍サービスの拡充 |
| | | 新たな情報メディアの収集・提供の検討 |
| | | 区の発行する資料の収集・提供 |
| | (3) 多様で豊かな学びの支援 | 知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供 |
| | | 本の世界をより深く理解するための様々な学びの機会の提供 |
| | | 学習成果を発信し、交流する機会の提供 |
| 2. 子どもの健やかな成長を支える図書館 | (1) 子どもが本に出合う機会を広げる | 図書館を子どもたちから見て楽しい場所にする |
| | | 子どもの読書を支援する取り組みの拡充 |
| | | 読書や図書館に興味を持つ子どもたちの支援 |
| | | 地域住民・関係機関・団体と協働した子どもの読書を支援する取り組みの推進 |
| | (2) 読みづらさを抱える子どもに対するサービス | 読みづらさを抱える子どもへの対応 |
| | | 図書館利用に困難を抱える子どもへの対応 |
| | | 日本語以外を母語とする子どもへのサービス |
| | (3) 中高生世代の居場所となりその成長を支える取り組み | 中高生世代にとって居心地のいい場所づくり |
| | | 中高生世代の興味関心に合ったイベントの開催 |
| | | 中高生世代へのサービスの推進に向けた資料等の充実 |

| | | |
|-------------------------------|-----------------------------|---|
| | (4) 学校図書館との連携、役割分担の明確化 | 学校及び学校図書館等への資料・情報の提供・支援 学校図書館等と区立図書館の連携体制づくり |
| 3. 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館 | (1) 地域の特徴に対応した資料の収集 | 地域・まちづくり・区民活動等に関する資料の収集 |
| | | 地域の人々や関係機関と連携した地域の記録や記憶の収集・公開 |
| | | 地域資料のデジタル化の検討 |
| | (2) 地域活動団体との連携・協働 | 地域の各施設、機関との連携 |
| | | 地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加 |
| | | 地域の活動団体への資料の提供 |
| | (3) 居心地の良い知的刺激のあふれる施設づくり | 落ち着いて快適に読書や調べものができる施設づくり |
| | | イベントや展示ができるスペースの確保 |
| | | 施設の改修による快適性の確保 |
| 4. それぞれの特性に対応した、多様な人々を包摂する図書館 | (1) 障害があっても利用しやすい資料とサービスの充実 | 対面朗読サービスの提供 |
| | | 資料の充実及び読書支援機器の充実 |
| | | デジタルデータの提供 |
| | | カウンターでの筆談体制の整備 |
| | | 来館困難な方へのサービス |
| | | 車いすや体が不自由な方も利用しやすい施設へ |
| | | 区民や区内団体や関係機関との連携 |
| | (2) 日本語以外を母語とする人々に対するサービス | 日本語以外を母語とする人々への資料提供等 |
| | | 日本語以外を母語とする人々への利用案内等 |
| | (3) デジタル機器を上手く使いこなせない方への対応 | デジタル機器を上手く使いこなせない方に対する支援 |
| デジタルコンテンツ閲覧環境の充実 | | |
| 5. 図書館DXとリモートサービスの推進 | (1) 非来館型図書館サービスの充実 | 図書館ホームページ機能の充実 |
| | | 図書館サービスを利用するためのアプリの検討 |
| | | 非来館型図書館サービスの取り組み |
| | | 電子市書籍サービスの拡充(再掲) |

| | | |
|---------------------|-----------------------|--------------------------------------|
| | (2) 図書館利用の利便性の向上 | 貸出・返却の利便性向上 |
| | | 閲覧席の予約システムの検討 |
| | (3) 次世代図書館情報システムの機能検討 | 図書館情報システムの機能検討 |
| | | AI の活用検討 |
| 6. 専門性と効率性を両立した運営体制 | (1) 図書館運営に関する高い専門性の確保 | 職員に必要なスキルと専門知識の向上 |
| | | 図書館専門職に関する新しい職員制度の検討 |
| | | 図書館運営のマネジメント能力向上 |
| | (2) 効率的効果的な図書館運営の在り方 | 業務委託館、指定管理館を含めた施設ごとの運営評価の実施 |
| | | 直営及び民間活用それぞれの強み弱みを踏まえた施設ごとの管理運営方式の検討 |
| | | 個別課題への対応 |
| | | 中央図書館のマネジメント機能の充実 |
| | (3) 事業・運営の指針・目標の設定 | 定期的な事業実施状況や運営状況の評価 |
| | | 評価や運営方針への利用者の視点の取り込み |
| | | 図書館運営の成果を的確に把握できる評価指標の検討 |
| | | SDGs に配慮した図書館経営 |

2 事業方針 —利用者の視点を重視した図書館サービスの構築—

<基本方針1 求められる知識・情報を確実に提供する図書館>

仕事や暮らしの中で生じた問題・課題の解決のために必要な資料・知識・情報を提供します。提供にあたっては、図書・雑誌等の紙の資料だけでなく、電子形態の資料やオンラインデータベースを始めとしたネットワーク上に存在する情報源（以下、「リモート情報源」）など様々な情報メディアを導入・活用し、問題・課題の解決のために有用な文献等を探し出し提供します。また、教養、レクリエーションのための読書、楽しみとしての読書も支援し、様々な資料を幅広く提供し、人々の文化的活動を豊かにすることを目指します。人々の関心に合った時機に応じたテーマのイベント等を開催し、人々の、「知る」、「考える」、「学ぶ」、応援します。

(1) 課題解決支援など調査研究の支援

暮らしのなか、仕事のなか、また学業のなかで生じた様々な問題・課題を解決するための調査研究（調べもの）を支援します。図書・雑誌を始め、オンラインデータベースなど調査研究に有効なツールを確保し、必要な知識・情報を提供する体制を整えます。また、調べものの相談に応じ（レファレンスサービス）、必要な文献を、他の図書館等からの取り寄せなども活用して提供します。

調べものに有効なコレクションの構築と提供

暮らしや仕事、学業のなかで生じる様々な問題・課題を解決するには、一般的な資料だけでなくある程度の専門性がある資料が必要です。調べものに対応できるコレクションなしに人々の調査・研究には対応できません。調べもののために作られたいわゆる「参考資料」はもちろん、分野によっては専門的な技術情報を含め必要な資料を収集し、調べものに対応できるコレクションを構築します。

調査に有効なリモート情報源の活用検討

近年、調べものに対応する多くの資料は電子化されオンラインで提供されています。辞書辞典類、新聞記事、統計データ等のオンラインデータベースです。また、調べものに有効な雑誌も、今日では、デジタル化されバックナンバーを含めてオンラインで提供されるようになりました。これらのリモート情報源は、非常に有効である一方、操作の個別性が高く、様々なりもート情報源を使いこなすには一定のハードルがありましたが、今日では統合的に利用するようなシステムも開発されつつあります。これらのリモート情報源の活用とそれらを統合的に利用するシステムの動向を注視し、より効果的な調査研究の支援を目指します。

レファレンスサービスの強化

調べものに関する相談を受け付け、その回答となる資料、記事等を提供したり、調べ方をアドバイスしたりするレファレンスサービスを強化します。資料・情報探索能力を高めサービスへの信頼を高めるとともに、レファレンスサービスについては、そのサービスの存在があまり知られていないことを鑑み、サービスの内容の周知、広報に努めます。また、調べる事柄によって調べる方法(道筋)を説明した「パスファインダー」を一層充実させます。

(2) 電子書籍ほか様々な情報メディアの収集・提供

これまでの紙の資料を大切にしつつ新しい情報メディアを積極的に取り入れ、多様なメディアで人々の資料や情報に対する要求に応えます。令和 2 年度から開始した電子書籍サービスについてはコンテンツの一層の充実を図ります。また、地域行政資料に関しても電子形態の資料の収集提供、資料のデジタル化を検討します。

電子書籍サービスの拡充

令和 2 年度より導入した電子書籍サービスを一層充実させます。利用できるコンテンツの質・量を充実させるよう努めます。また、利用の仕方についての広報、利用の支援も行います。

新たな情報メディアの収集・提供の検討

情報化の進展に伴い様々な資料・情報がデジタル化、ネットワーク化されています。図書館は、従来、紙の資料を収集し蔵書となった資料を提供することを基本としていましたが、今日の情報化社会はそれだけでは必要な知識・情報を人々に提供できない、という状況になりつつあります。

前述した調べものに有効なりモート情報源、その他ネット上の様々な情報源を含めて新しい情報メディアの導入・提供について検討します。

区の発行する資料の収集・提供

世田谷区の公立図書館として、区が発行する資料については収集・整理・保存し、提供することが求められます。情報化の進展に伴い、区が発行する資料についても PDF などのデジタル版での配布、ホームページでの掲載などが主体になってきました。これらの資料・情報をどのように収集・管理・提供するか、検討していきます。

(3) 多様で豊かな学びの支援

人々の様々な本を読んで楽しみ、また、文化や教養を得たいという要望に応える幅広い豊かなコレクションを構築します。本の中身をさらに良く理解したり体験したりできる事業や講座を提供し、人々の知的関心に応えます。学んだ成果を発表したり交流したりできる機会を設け、ともに学ぶ機運を醸成します。

知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供

図書館は、文化機関であり、人々の教養とレクリエーションに資することを目的とした機関でもあります。多くの人々が、教養を深め、様々な世界観を楽しみ、また、豊かな充実した時間を過ごすために図書館を利用します。それに応えるために、図書館は、様々な知識を得られたり認識の幅を広げたりできるような資料、また感動したり面白いと感じてもらえるような資料を収集し提供します。

どのようなコレクションの構築を目指すかについては、その考え方や基準をホームページ等で公表していきます。

本の世界をより深く理解するための様々な学びの機会の提供

著者の講演会や、本に親しむようなイベントなど、本と読書の世界をもっと理解し深く感じられるようなイベントを開催します。本と共に、それに関連した事業や講座に参加し体験する機会を提供し、それらを通じて知識や認識が一層広がり、さらに、新たな学びのきっかけをつくります。

学習成果を発信し、交流する機会の提供

図書館の資料を使って学んだこと、図書館で学習した成果などを発信し、成果を共有し、同じような経験をしている人々と交流する機会をつくります。そのことで、図書館で調べ学んでいる人を後押しすると同時に、発信することによって図書館の調査、学習支援の役割を多くの人々に知らせ理解を広めます。

< 基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館 >

子どもにとって、楽しい、居心地のいい場所としての図書館を目指します。様々な活動ができ、気軽に立ち寄ることができ、また心安らかに時間を過ごせる場となるよう努めます。様々なきっかけを通じて子どもたちが図書館及び本と出会い、本を読む楽しさや大切さ、学び成長する楽しさを感じる機会を増やし、生涯にわたる読書習慣や学ぶ姿勢を身に着けることができるよう支援します。

学校及び学校図書館と連携し、学校に必要な資料・情報を公共図書館から支援するとともに、学校以外の様々な子ども関連施設・機関とも連携し子どもたちの成長を支え読書を広げます。

(1) 子どもが本に出会う機会を広げる

子ども達から見て、図書館がまず楽しいところ、行きたくなる場所となるよう施設のレイアウトや運営の仕方を工夫します。また、本を読むだけでなく図書館で子どもたちが体験できることを増やします。地域の人々や子ども関連機関と連携し、子どもの発達段階に応じたブックリストの作成・配布や本に親しむきっかけとなるようなイベントや取り組みを行います。

図書館を子どもたちから見て楽しい場所にする

図書館は、何よりも子どもたちにとって楽しい場所であることが望まれます。なんとなく本や読書は苦手だな、と思っている子どもたちも「あ、面白そうだな」と思えるような施設やサービスを検討します。子ども室の飾りつけ、ディスプレイの工夫、子どもたちの興味関心にあったイベントなどにも取り組みます。また、マンガやライトノベルなど従来図書館で積極的ではなかった分野についても充実させていきます。

子どもの読書を支援する取り組みの拡充

本に親しむ子どもを増やし、子どもたちがより広い範囲の様々な本を知り、読書の世界を広げられるよう、子どもの年齢や発達段階に応じたブックリストの作成、配布、保護者向けの講座などを開催します。子どもたちに本の楽しさを感じてもらい本に親しむきっかけとなるようお話し会を始めとした催しを開催します。お話し会を定例的に開催するとともに、年齢別のお話し会の開催、ボランティアによるお話し会など、開催の仕方や内容も工夫して行います。

読書や図書館に興味を持つ子どもたちの支援

読書好き図書館好きの子どもたちがもっと本や図書館を楽しめるよう「読書リーダー」を募集し、本や図書館の仕事を知ってもらう活動を進めます。職場体験を積極的に受け入れ、図書館と図書館の仕事をよく知っている子どもたちを増やします。

地域住民・関係機関・団体と協働した子どもの読書を支援する取り組みの推進

区立図書館のみならず、地域の人々、関係機関、団体と連携し、子どもの読書を支援する取り組みを実施します。図書館で地域の人々が参加し様々な体験談を語って頂いたり、保育園などの子ども関連施設に図書館が出かけてお話し会やイベントを行ったり、地域全体で子どもたちを支え子どもの読書を推進・支援する取り組みを行います。

(2) 読みづらさを抱える子どもに対するサービス

障害や様々な理由で図書館や本を利用できなかつたり、困難を抱えたりしている子どもたちに、利用できるあるいは利用しやすい資料の提供や、図書館を利用しやすくするためのサービスを提供します。

読みづらさを抱える子どもへの対応

読むことや図書館利用に困難さを抱えている要因には、見え方に原因がある場合と見え方以外の要因で読むことに困難がある場合(ディスレクシア等)があります。それぞれの見え方や特性により、使いやすい資料を選べるよう、音訳図書、マルチメディアデジター、点字図書、さわる絵本、大活字本、拡大読書器などを用意します。また、読み上げ機能対応の電子書籍の充実や、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の活用を図ります。さらに学校や関連の機関と連携し ICT を活用して読書ができる方法を検討していきます。

図書館利用に困難を抱える子どもへの対応

読むことに問題はなくともそれ以外の要因で図書館が利用しにくい場合があります。身体が不自由で図書館に来にくい、施設を利用しにくいなどです。聞こえが悪くコミュニケーションがとりにくい場合もあります。それぞれの要因に対応し、施設や設備の改善、体制の整備等により極力図書館を利用できるようにするとともに、宅配サービスや「サピエ」の活用など図書館に来なくとも利用できるようなサービスに取り組みます。

日本語以外を母語とする子どもへのサービス

令和5年7月に公表された「世田谷区将来人口統計」では、「世田谷区における外国人人口は、平成27年度以降、令和2年度まで高い増加傾向を示していた。コロナ禍以降、いったん減少したが、入国制限が緩和された令和4年4月以降は再び増加に転じた。」と外国人人口が増大しているとされました。そのため、日本語以外を母語とする子どもたちへは、その言葉の子どもの本をそろえ提供するよう努めます。また、利用の案内等にあたってはやさしい日本語を使用するなどコミュニケーションに配慮をします。子どもたちが日本語にも慣れ不自由なく日本語で読み書きできコミュニケーションも取れるよう、どのような援助が可能か検討し、支援できるよう努めます。

(3) 中高生世代の居場所となりその成長を支える取り組み

中高生世代が行きたくなる図書館になるよう、読書及び本に関連することはもちろん、それ以外にも様々な活動ができる居心地のいい図書館を目指します。また、不登校の児童生徒の居場所としての機能についても検討していきます。

本に関しては、様々な、関心の世界を広げるような本、面白い本、成長の糧となるような資料を中高生世代に紹介し提供します。若者の興味関心を惹き、本の世界をより深く感じられるようなイベントを開催します。そして、本にとどまらず、様々な活動、体験を提供する図書館を目指しそのための施設の改善、サービスを検討します。

中高生世代にとって居心地のいい場所づくり

勉強用の席を用意する、グループ室を作って友達と一緒に勉強できるようにする、また、比較的長い時間落ち着いて時間を過ごせるようにするなど、中高生世代にとってサードプレイスとなる図書館スペースのモデルを検討します。

中高生世代の興味関心に合ったイベントの開催

中高生世代の興味関心に合った講演会やイベントを開催します。本や雑誌その他の資料には、若い世代が興味を抱き関心を持つテーマが無限に含まれています。本に書かれている中身が体験できたりリアルに感じられたりするイベント等は、中高生世代に楽しみや充実感を提供すると同時に、彼らが図書館を訪れ本に親しむきっかけにもなります。

中高生世代へのサービスの推進に向けた資料等の充実

成長に伴い広がる関心領域に対応し、様々な分野の資料、考え方の礎となりうる資料を体系的に収集します。様々な事柄に関する認識を深め世界を広げる幅広い資料、また、感動できる、想像力を掻き立てるような面白い本を充実させます。

(4) 学校図書館との連携、役割分担の明確化

1人1台端末時代の学校へ、デジタルコンテンツを含めた資料及び情報を提供し、より豊かで充実した教育環境を支援します。また、学校図書館や、特別支援学級等と連携し、学校図書館と区立図書館の協働・連携事業を検討します。

学校及び学校図書館等への資料・情報の提供・支援

調べ学習のための支援貸出、学級文庫への団体貸出を引き続き充実させるほか、区立図書館の電子書籍サービスについて、一斉読書や教室内での調べ学習などのため教室でクラス全員が同じ本を利用できるようにすることを検討します。

学校図書館等と区立図書館の連携体制づくり

学校図書館と区立図書館の連携の体制をつくり、資料や利用状況に関する情報交換や資料やシステムに関する情報の共有を図ります。また、どのような連携した事業が可能か検討します。

< 基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館 >

図書館が立地している地域の特徴を踏まえ、それを活かしたコレクションやイベント等を進めます。一人でも誘い合っても気軽に立ち寄り、また、地域の人々の協力により様々な魅力的なイベント等が行われ、人の交流が生まれ、その結果、図書館がつながりの場として機能することを目指します。地域資料の収集はもちろん、地域の人々や様々な機関との協力・連携を得ながら資料化されていない記録や記憶の収集、公開などを検討していきます。

(1) 地域の特徴に対応した資料の収集

地域にゆかりのある作家の作品をあつめたり、地域の史跡や伝統、その他の特色にちなんだ資料を集めたりなど、地域をよりよく知るためのコレクション、コーナーを作り充実させます。地域図書館は立地している地区、中央図書館は弦巻地区及び世田谷区全体を対象として取り組みを進めます。また、地域の様々な資料、資料化されていない写真や様々な記録なども地域の人々や各種機関との連携や協力の下で収集、アーカイブ化を検討していきます。

地域・まちづくり・区民活動等に関する資料の収集

地域の資料の網羅的収集、整理保存、公開を目指します。地域の歴史、まちづくりや区民の活動等に関する資料は、可能な限り収集し、整理保管、公開します。それらは地域の歴史の共有、地域への親しみや愛着に繋がります。

地域の人々や関係機関と連携した地域の記録や記憶の収集・公開

地域の歴史を形作る情報は、必ずしも資料化されておらず、各家庭や団体機関の片隅で眠っていることがあります。記録化もされておらず人々の記憶に残っているだけという情報もあります。これらの情報を記録化、資料化、収集整理し、広く一般に公開するために、郷土資料館やせたがや Web 写真館等とも連携して検討していきます。

地域資料のデジタル化の検討

地域資料の中には、全国の図書館の中でも世田谷区立図書館しか所蔵していないものが沢山あります。このような資料は、デジタル化しネット上に利用しやすい形で公開する（アーカイブ化）ことが求められます。

(2) 地域活動団体との連携・協働

世田谷文学館をはじめとした（公財）せたがや文化財団や郷土資料館などの文化・資料収集・教育機関を始め様々な機関や団体と連携・協働して地域の活動、文化活動を推進します。また、町会、自治会、商店会などとも連携し、人々の生活の中で本や情報、図書館を感じ、

様々な形で図書館を利用して頂く機会を増やすよう努めます。

地域の各施設、機関との連携

地域に存在する各施設機関、地域に関連がある施設機関等と連携し、イベント情報の共有、お互いに関連した取り組みの実施、共同事業の企画実施など、様々な形で連携に取り組みます。特に世田谷美術館、世田谷文学館、郷土資料館など親和性の高い施設と、地域に根差した活動や様々な連携を検討します。

地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加

地域の人々と図書館との距離を縮めるよう地域の人々との連携を強めます。地域の人々の活動に図書館が連携・協力すると同時に、地域の人々に図書館を活動の場(展示、発表等)として使っていただけるよう施設等の条件整備に努めます。また、図書館の業務に多くの区民にボランティア(お話しボランティア、音訳・点訳ボランティアなど)として参加して頂けるよう運営を工夫します。

地域の活動団体への資料の提供

地域で本に関連する活動をしている団体、施設に団体貸出の形で資料の提供を行います。読書会等のために複数の人数で利用できるような一定数の本を長期間貸出したりすることができます。

(3) 居心地の良い知的刺激のあふれる施設づくり

落ち着いて快適に読書ができるスペースづくり、また、コーナーや展示の工夫等で知る・学ぶといった好奇心が生まれる空間を目指し工夫します。中央図書館の大規模改修(プラネタリウム含む。)にあたっては、多様な利用ができるようなレイアウトを検討します。

落ち着いて快適に読書や調べものができる施設づくり

中央図書館の改修にあたっては、落ち着いて本が読める席、また、調べものができる机、パソコンが利用できる席、環境など館内で資料や情報の利用活用ができるスペースを増やすよう努めます。

イベントや展示ができるスペースの確保

本を手に取り読んでみようという刺激が様々なあふれる図書館となるよう、小規模イベントやテーマ本の展示ができる場所を図書館内あるいは図書館が含まれる施設内に作れないか検討します。

施設の改修による快適性の確保

区民ニーズを踏まえ居心地のいい空間や多様な活動ができる施設づくりを追求するとともに、SDGsの目標にあるように、環境に配慮し、人々が快適・安全に利用できる、また持続的に利用できる施設づくりを目指します。

< 基本方針4 それぞれの特性に対応した、多様な人々を包摂する図書館 >

印刷された文字の資料は利用しにくい、また日本語が母語でなく日本語の読解が困難など、多数の人々向けの資料やサービスだけでは十分に図書館を利用できない方々のために、それぞれの方の事情に対応した資料やサービスの提供を進めます。また、情報社会が進化するなかで、いわゆるデジタル機器を上手く使いこなせない方を支援し、情報社会に対応するためのスキルや活用する力の獲得を支援します。様々な特性を持った全ての人が特別な負担を感じることなく自由に利用できる図書館を目指します。

(1) 障害があっても利用しやすい資料とサービスの充実

それぞれの見え方や特性により、使いやすい資料を選べるよう、音訳図書、点字図書、大活字本、拡大読書器、マルチメディアデイジー、バリアフリー図書などを用意します。また、読み上げ機能対応の電子書籍の充実や視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の活用を図ります。

施設のバリアフリー化を進めると同時に、障害等で図書館への来館が困難な方に対しては自宅配本サービスを行います。また、様々な特性をお持ちの方々に対し十分な情報提供やコミュニケーションが取れるよう工夫します。

対面朗読サービスの提供

目が不自由なため印刷された文字が読めない方に対し、図書館の資料等を朗読する対面朗読サービスを提供します。

資料の充実及び読書支援機器の充実

それぞれの見え方や特性により、使いやすい資料を選べるよう、音訳図書、点字図書、大活字本、拡大読書器、マルチメディアデイジー、バリアフリー図書などを用意します。また、読み上げ機能対応の電子書籍の充実や視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の活用を図ります。

デジタルデータの提供

パソコン等の読み上げ機能を利用できることから、電子書籍を充実させ、印字された文字を読むのに困難がある方の利用促進を図ります。パソコンの読み上げ機能を前提にテキストデータによる資料、情報提供を行います。

カウンターでの筆談体制の整備

聞こえない方とのコミュニケーションを図るためにカウンターに筆記用具を常備し、筆談でコミュニケーションが取れるようにします。また、イベント等の際は、会場に手話通訳者の配置を検討します。

来館困難な方へのサービス

障害等のため来館困難な方を対象に、図書館資料の宅配サービスを行います。

体が不自由な方も利用しやすい施設へ

ユニバーサルデザインの実現のため、図書館内の段差をなくす、ドアを自動ドアを採用する、必要な場所には手すりを設ける等を行い、だれもが利用しやすい施設とします。また、必要な場所には点字サインをつけるよう努めます。

区民や区内団体や関係機関との連携

誰もが図書館、資料を利用できるような図書館をつくり、サービスを提供するにあたっては、区内の様々な団体、機関と連携を取り協力して進めていきます。また、音訳・点訳ボランティア等の協力を得てサービスを提供します。

(2) 日本語以外を母語とする人々に対するサービス

利用者の母語の資料を収集し、日本語以外を母語とする方でも、一定の範囲では母語で本が読め、知識・情報が入手できるようにします。また、図書館の利用案内は多言語で作るとともに、やさしい日本語やサインを活用し図書館の使い方が理解できるようにします。

日本語以外を母語とする人々への資料提供等

区内在住の方々の母語(日本語以外)の主要な言語を中心に、暮らしに必要な資料・情報が母語で入手できるよう資料の収集・提供を引き続き行います。資料の収集にあたっては当事者の要望を把握し、要求に合ったコレクションとなるようにします。

日本語以外を母語とする人々への利用案内等

利用案内等の多言語化について一層の努力を図るとともに、日本語で作成する場合は、日本語が堪能でない方でも理解できるよう、わかりやすい優しい日本語で記述します。

(3) デジタル機器を上手く使いこなせない方への対応

図書や検索機能がデジタル化する中で、図書館利用者がデジタル化に応じ資料検索等ができるように支援をします。

デジタル機器を上手く使いこなせない方に対する支援

パソコンやスマホなどデジタル機器の操作が分からない、インターネットでの目的のWebが見つからない、アプリの操作が分からないなどのデジタル機器をうまく使いこなせないという方々向けに、外部講師による講演会などイベントを開催します。

デジタルコンテンツ閲覧環境の充実

ご自身でデジタル機器をお持ちでなく、ネット上の情報を見ることが出来ない、あるいは、電子書籍を読むことが出来ない等の方に、館内でのデジタルコンテンツ閲覧環境の充実を図ります。

< 基本方針 5 図書館 DX とリモートサービスの推進 >

図書館利用の利便性を高め多くの区民に利用してもらえよう手続きのデジタル化を進め、サービス改善に取り組みます。図書館ホームページを改善し、様々な資料を探し、ホームページから利用できるサービスを増やします。図書館まで来なくても資料を受け取れるサービスをさらに発展させることを目指します。AI など新しい技術の発展にも注目し、その活用を検討します。

(1) 非来館型図書館サービスの充実

図書館のホームページの機能を充実させ、ウェブ上で完結できるサービスを増やします。資料・情報検索システムの機能を充実させ、特定資料の有無を確認できるだけでなく様々な角度から資料や情報を検索・発見できるようにします。また、資料の予約・貸出に関しても、開館時間中に図書館に来なくとも資料を受け取れる体制を検討します。また、文献複写物の送信サービスについても検討します。

図書館ホームページ機能の充実

図書館ホームページの機能充実等により、ホームページ上でできることを増やします。また、ホームページから利用できる検索機能を向上させ、探している資料や情報を検索・特定しやすくします。

図書館サービスを利用するためのアプリの検討

現行の共通利用カードだけでなく、スマホの画面に利用者 ID のバーコードを表示することで資料の貸出しができ、紙のレシートを受け取らなくても借りている資料とその期限が分かるなどペーパーレスの実現と利用者の利便性向上のために「世田谷区立図書館アプリ」などを検討します。

非来館型図書館サービスの取り組み

宅配ボックス型のブックボックスを設置し、図書館開館前の早朝や閉館後の深夜に図書館以外の場所において、予約した図書資料を受け取ることができるブックボックスの本格導入に向けて、検討、設置に取り組みます。

また、文献複写物を送信するサービスを検討します。

電子書籍サービスの拡充（再掲）

令和 2 年度より導入した電子書籍サービスを一層充実させます。利用できるコンテンツの質・量を充実させるよう努めます。また、利用の仕方についての広報、利用の支援も行います。

(2) 図書館利用の利便性の向上

デジタル化によって図書館利用の利便性向上を目指します。セルフ貸出システムの一層の活用を進めるとともに、共通利用カード（利用者登録カード）のデジタル化、順番が来た予約資料のセルフ貸出等を検討します。また、閲覧席の数や利用者属性などに合わせて、閲覧席の予約・使用管理システムを検討します。

貸出・返却の利便性向上

全館全資料への IC タグ貼付を進めるとともに、それを活用し貸出・返却の利便性を一層高めます。セルフ貸出機の増設、予約資料セルフ貸出の仕組みなど、利用者自身での貸出手続きの拡充を検討します。ただし、対面での処理を希望される方には引き続き対面での手続きを行います。

閲覧席の予約システムの検討

閲覧席の数や利用者属性などに合わせて、席の予約と利用管理ができるシステムの導入を検討します。あらかじめ予約して来館することによりスムーズに席を利用でき、また、多くの利用者にとってストレスなく公平な利用管理ができることを目指します。

(3) 次世代図書館情報システムの機能検討

人々にとって有用な多くの情報が紙の世界にとどまらず、デジタルの形で、またネット上に膨大に存在していることを鑑み、それらの情報を統合的に検索し利用するシステムを検討します。また、ロボットや AI など先端テクノロジーの動向を注視し、図書館での活用を検討します。

図書館情報システムの機能検討

図書館の蔵書だけでなく、オンラインデータベースや電子ジャーナル等の様々なリモート情報源を統合して検索し、求めていた情報を発見、特定、利用するあたらしい情報検索システムについて調査研究します。

AI の活用検討

進化・進展が加速する AI 技術に注視し、チャットボット、ロボット、生成 AI などの新しい技術によって図書館でどう活用できるか、検討していきます。

< 基本方針6 専門性と効率性を両立した運営体制 >

職員研修を強化し、職員の専門的能力を高める取り組みを進めるとともに、図書館のマネジメント機能や能力を強化し、計画の実行力を高めます。図書館運営協議会において利用者ニーズに即した図書館運営やサービスの評価・検証も踏まえながら、今後の図書館運営の在り方を検討します。また、その前提となる評価指標についても検討していきます。

(1) 図書館運営に関する高い専門性の確保

職員が、資料や情報の専門家として利用者から信頼を獲得できるよう研修を充実します。資料や情報を扱う知識やスキル、地域や行政に関する知識、コミュニケーション能力やリーダーシップ、マネジメント能力など、サービスを展開し図書館を運営していくための力を身に付けさせます。

職員に必要なスキルと専門知識の向上

人材育成計画を立案し、図書館サービスに必要な図書、情報に関する知識、スキルの習得を目指す研修をはじめ、必要な専門能力の獲得、支援を計画的に実行します。司書資格取得のための講習に職員を派遣します。

また、図書館サービスや業務の幅が、子どもへのサービス(快適な居場所づくりなど)や地域づくり地域活動などの支援、さらに今後は情報技術的なサービスなどへと広がっていくことを踏まえ、そのためのスキル獲得するための研修を行い、またそれらのスキルを持った人材の配置に取り組みます。

図書館専門職に関する新しい職員制度の検討

図書館に専門的な知識及びスキルを持つ職員を体制として確保できるよう、組織体制及び人事制度の検討を行います。また、専門的な知識及びスキルを持った人材確保の方策についても、試行を含め検討します。

図書館運営のマネジメント能力向上

図書館ビジョンの計画実行に向けて、図書館運営のマネジメント能力を向上させるための実務研修、外部研修を行います。また、他部署へのジョブローテーションを通じて、組織としてのマネジメント能力を向上する体制整備について、庁内外の関係部署と検討します。

(2) 効率的効果的な図書館運営の在り方

指定管理、業務委託など民間の活力を生かした運営手法に関し、図書館運営協議会における利用者の視点からの意見等を踏まえ、今後どのような体制で運営するか施設ごとの機能を整理し検討します。また、世田谷区立図書館全館の業務を統括しサービス水準を向上させることのできるよう、中央図書館を中心に、業務標準の明確化、体制の整備、計画の遂行・推進を図ります。

業務委託館、指定管理館を含めた施設ごとの運営評価の実施

図書館運営協議会における区立図書館の評価・検証や区の指定管理者制度運用にかかるガイドラインに基づく個々の指定管理館の運営状況の評価など、外部の視点を通じた意見等を踏まえながら、すでに実施している業務委託館(世田谷・梅丘)指定管理館(経堂、烏山、下馬)を含めて、区としての運営評価を行います。

直営及び民間活用それぞれの強み弱みを踏まえた施設ごとの管理運営方式の検討

上記の区としての運営評価等の実施や、第2章(4)「図書館運営体制に関する振り返り」で述べた様々な課題を整理し、指定管理者選定委員会による評価を実施する令和7年度にあわせて、直営および民間活用それぞれの特色を活かした施設ごとの管理運営方式を検討します。その検討結果を踏まえ、令和8年度以降に民間活用を図る施設について、区民や関係者に示していきます。

なお、改築や大規模な改修を実施する地域図書館など、自由度の高い図書館サービスの充実を図る場合は、世田谷区立図書館運営体制あり方検討委員会報告書に基づき「指定管理者制度」の導入を選択肢として検討すべき図書館と考えられることから、当該制度の活用を基本に検討します。

個別課題への対応

定年延長など人事制度の変革により地域図書室職員の人員確保や、耐震補強工事のスケジュールが定まらない奥沢図書館の今後の取り組みなど個別の課題については、本ビジョンの計画期間中での検討に取り組みます。

中央図書館のマネジメント機能の充実

区立図書館の円滑な業務遂行として、直営館、委託館、指定管理館が混在している状況において、図書館全体の業務水準を中央図書館がリーダーシップを発揮して、人材確保、組織体制や業務指針の整備、検討を行います。

(3) 事業・運営の指針・目標の設定

定期的に利用者アンケートを始めとした利用者の意見・評価を収集する取り組みを行い、利用者の視点を取り込んだ運営の評価を行います。その際の指標については、世田谷区内外の知見・経験を踏まえて検討し、明確化します。また、評価を踏まえて、改善アクションを起こし、業務及びサービスの質の向上を図ります。

定期的な事業実施状況や運営状況の評価

確実に図書館計画の実行、図書館サービスの向上を図っていくために、事業統計、事業報告、利用者からのアンケートなど様々な方法で、定期的に事業実施状況、運営状況を把握し、評価します。

評価や運営方針への利用者の視点の取り込み

評価にあたっては、運営側の視点だけでなく図書館運営協議会の意見を踏まえるなど利用者からの視点を取り入れるようにします。図書館ビジョンに基づく取り組みを意識した定期的な利用者アンケート調査を実施、利用者の意見を把握し、それらを踏まえた改善のための方針を策定します。

図書館運営の成果を的確に把握できる評価指標の検討

有効有用な評価をするための評価指標を検討します。事業の回数や利用の量などのアウトプットに関する指標だけでなく、利用者や地域社会に生じた変化や与えた影響を把握するアウトカム指標も検討・活用し、PDCAによる計画評価に取り組んでいきます。

SDGs に配慮した図書館経営

図書館の運営及び図書館サービスの提供のすべての局面で、環境への配慮、人権・平等・多様性への配慮、持続可能な運営などSDGsに配慮した運営・サービスに取り組み、その目標達成を目指した図書館経営を行います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第3次世田谷区立図書館ビジョン（素案）に伴う協議会からの意見反映等一覧

| | 概要 | 協議会からの意見一覧 該当ページ | 協議会からの意見 | 第3次ビジョン （素案）反映 該当ページ | 第3次ビジョン（素案）反映該当項目 | | | 第3次ビジョン（素案）記載内容 |
|---|-----------------|---------------------|---|----------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|---|--|
| | | | | | 基本方針 | 事業方針 | 取り組み項目 | |
| 1 | 資料の選書 基準について | 3ページ | <p>・<u>選書の判断をどう考えているかは利用者にはわからないので、どんな仕組みなのかを明らかにして公開していれば、この図書館運営協議会でも意見を言う機会となると思う。</u></p> <p>・世田谷区立図書館として<u>どういった資料を収集・選書するのかを、区民に分かりやすく公開したほうが良い。</u></p> <p>・<u>選書を見える化するというのはとても大事な事だと思うし、それをその指標に、評価の中で選書を見える化するということをうたうというのは非常に先進的なことじゃないかなと思うので、ぜひそれを目指したいと思う。</u></p> | 15ページ | 基本方針1 求められる知識・情報を確実に提供する図書館 | (3) 多様で豊かな学びの支援 | ①知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供 | 図書館は、文化機関であり、人々の教養とレクリエーションに資することを目的とした機関でもあります。多くの人々が、教養を深め、様々な世界観を楽しみ、また、豊かな充実した時間を過ごすために図書館を利用します。それに応えるために、 <u>図書館は、様々な知識を得られたり認識の幅を広げたりできるような資料、また感動したり面白いと感じてもらえるような資料を収集し提供します。</u> <u>どのようなコレクションの構築を目指すかについては、その考え方や基準をホームページ等で公表していきます。</u> |
| 2 | ブックリストについて | 1ページ | <p>・<u>中央図書館で作成しているブックリストについて、学校とうまく連携できたら、もっと深いものができるのではないかな。</u></p> <p>・部活に特化した中学生向けのブックリストがあり、それを見て中学校に入ったらこの部活をやりたいというようなことを言う子もいたので、こういったブックリストには効果があるのではないかな。</p> <p>・中央図書館に限らず、ほかの世田谷区内の図書館に足を運んだときに、いろいろブックリストを作っているのを見ていて、とても意欲的に取り組んでいるなと思う。一方で、ブックリストを作成した後の評価も必要だと思う。</p> <p>・ブックリストについて、全体を通して配付先に児童館が出てこないが、児童館も乳児から高校生までとても魅力的なイベントとか活動をしているので、そこにこの魅力的なブックリストがないのはもったいないなと思った。</p> | 16ページ | 基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館 | (1) 子どもが本に出会う機会を広げる | ②子どもの読書を支援する取り組みの拡充 | 子ども達から見て、図書館がまず楽しいところ、行きたくなる場所となるよう施設のレイアウトや運営の仕方を工夫します。また、本を読むだけでなく図書館で子どもたちが体験できることを増やします。地域の人々や子ども関連機関と連携し、 <u>子どもの発達段階に応じたブックリストの作成・配布や本に親しみきっかけとなるようなイベントや取り組みを行います。</u> 本に親しむ子どもを増やし、子どもたちがより広い範囲の様々な本を知り、読書の世界を広げられるよう、 <u>子どもの年齢や発達段階に応じたブックリストの作成、配布、保護者向けの講座などを開催します。</u> 子どもたちに本の楽しさを感じてもらい本に親しみきっかけとなるようお話し会を始めとした催しを開催します。お話し会を定例的に開催するとともに、年齢別のお話し会の開催、ボランティアによるお話し会など、開催の仕方や内容も工夫して行います。 |
| 3 | 中高生の記載について | 1ページ | <p>・<u>中高生についての記載</u>が、この基本方針1にはあまり出てきていないのではないかな。</p> <p>・基本方針1「0歳児からの読書を支える図書館」とあるが、幼児のを中心に取り組んでいるような印象を受けるので、<u>小中高生に関する言葉が入ると良いのではないかな。</u></p> | 18ページ | 基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館 | (3) <u>中高生世代</u> の居場所となりその成長を支える取り組み | ① <u>中高生世代</u> にとって居心地のいい場所づくり ② <u>中高生世代</u> の興味関心に合ったイベントの開催 ③ <u>中高生世代</u> へのサービスの推進に向けた資料等の充実 | <u>事業方針、各取組項目に「中高生」について記載</u> |
| 4 | 子どものデジタル支援について | 11ページ | <p><u>小中学校の子どもたち全員にタブレットが配付され、子どもたちもネットで本を読むという時代になっていくと思う。そのときに図書館の役割は一体何なんだろうということ、これから先の未来、もう少し近い将来、ネット図書館みたいなものができるのかもしれないとか、そういう話も少し加えたらいいと思う。</u></p> | 19ページ | 基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館 | (4) 学校図書館との連携、役割分担の明確化 | — | <u>1人1台端末時代の学校へ、デジタルコンテンツを含めた資料及び情報を提供し、より豊かで充実した教育環境を支援します。</u> また、学校図書館や、特別支援学級等と連携し、学校図書館と区立図書館の協働・連携事業を検討します。 |
| 5 | 郷土資料館等との連携について | 7ページ | <p>・<u>郷土資料館や文学館など世田谷の文化資源を持っているところと連携し、横断して検索できるコンテンツサービスの充実を図ることで、大人の学びを豊かにすることにもつながるのではないかな。</u></p> | 20ページ | 基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館 | (1) 地域の特徴に対応した資料の収集 | ②地域の人々や関係機関と連携した地域の記録や記憶の収集・公開 | <u>地域の歴史を形作る</u> 情報は、必ずしも資料化されておらず、各家庭や団体機関の片隅で眠っていることがあります。記録化もされておらず人々の記憶に残っているだけという情報もあります。 <u>これらの情報を記録化、資料化、収集整理し、広く一般に公開するために、郷土資料館やせたがやWeb写真館等とも連携して検討していきます。</u> |

第3次世田谷区立図書館ビジョン（素案）に伴う協議会からの意見反映等一覧

| 概要 | 協議会からの意見一覧 該当ページ | 協議会からの意見 | 第3次ビジョン （素案）反映 該当ページ | 第3次ビジョン（素案）反映該当項目 | | | 第3次ビジョン（素案）記載内容 |
|-------------------------|---------------------|---|----------------------------|-------------------------------|-----------------------|---------------------------------------|---|
| | | | | 基本方針 | 事業方針 | 取り組み項目 | |
| 6 職員のスキル等について | 9ページ | <p>・日本図書館協会で全国の司書を対象に経験を積んで、研修を受けている司書を認定する仕組みがある。認定司書と言っているが、全国でかなりの人数がこの認定司書の資格を取っていく。世田谷区の図書館職員は150人程度いるが、<u>毎年1人ずつでもいいから、その認定司書の資格が取れるように研修を受けて、その能力を発揮できるだけの文章、論文が書けるかどうか。そういうものも評価指標の中に取り入れて、毎年少なくとも1人は認定されるようにするとかという雰囲気とか、そういう機運を世田谷区の中でも盛り上げていく必要はある。</u></p> <p>・<u>職員の必要なスキルに関して、</u>研修を受けた職員が図書館職員としてどれだけ長く勤務しているかで、レファレンスの対応なども変わってくると思うので、<u>これまで培ったスキルを生かせるような職員の配置も必要ではないか。</u></p> | 28ページ | 基本方針6 専門性と効率性を両立した運営体制 | (1) 図書館運営に関する高い専門性の確保 | ①職員に必要なスキルと専門知識の向上 | <p>人材育成計画を立案し、図書館サービスに必要な図書、情報に関する知識、スキルの習得を目指す研修をはじめ、<u>必要な専門能力の獲得、支援を計画的に実行します。司書資格取得のための講習に職員を派遣します。</u></p> <p>また、図書館サービスや業務の幅が、子どもへのサービス（快適な居場所づくりなど）や地域づくり地域活動などの支援、さらに今後は情報技術的なサービスなどへと広がっていくことを踏まえ、そのための<u>スキル獲得するための研修を行い、またそれらのスキルを持った人材の配置に取り組みます。</u></p> |
| 7 中央図書館のマネジメント機能について | 8ページ | <p>・<u>「中央図書館のマネジメント機能の充実」について、基本方針5と基本方針6に重複して書かれていると、どちらをベースに議論したらいいのかというのがよく分からないと思った</u>ので、人員を育成していくものなのか、マネジメントとしてトップダウンで落とすような方針を決めるものなのか、日々の業務の品質の向上なのか、その視点で分けていただくとか、来年度の図書館運営協議会の運営、評価の仕方についてぜひ検討いただきたい。</p> | 29ページ | <u>基本方針6 専門性と効率性を両立した運営体制</u> | (2) 効率的効果的な図書館運営の在り方 | ④中央図書館のマネジメント機能の充実 | <p>区立図書館の円滑な業務遂行として、直営館、委託館、指定管理館が混在している状況において、図書館全体の業務水準を中央図書館がリーダーシップを発揮して、人材確保、組織体制や業務指針の整備、検討を行います。</p> <p><u>第3次ビジョンでは基本方針6に記載</u></p> |
| 8 指定管理者制度について | 10ページ | <p>「民間活力を計画的に導入」だが、指定管理制度の評価というのは、管理している側が評価しているものはあったと思うが、区民側からの評価というのは見たことがない。<u>図書館全体としての評価の中の項目が曖昧なまま、指定管理者制度を導入する気がするので、その辺りの評価はどうしていくのか明確にしていると良いと思う。</u></p> | 29ページ | 基本方針6 専門性と効率性を両立した運営体制 | (2) 効率的効果的な図書館運営の在り方 | ②直営及び民間活用それぞれの強み弱みを踏まえた施設ごとの管理運営方式の検討 | <p><u>上記①の区としての運営評価等の実施や、第2章(4)「図書館運営体制に関する振り返り」で述べた様々な課題を整理し、指定管理者選定委員会による評価を実施する令和7年度にあわせて、直営および民間活用それぞれの特色を活かした施設ごとの管理運営方式を検討します。その検討結果を踏まえ、令和8年度以降に民間活用を図る施設について、区民や関係者に示していきます。</u></p> <p><u>なお、改築や大規模な改修を実施する地域図書館など、自由度の高い図書館サービスの充実を図る場合は、世田谷区立図書館運営体制あり方検討委員会報告書に基づき「指定管理者制度」の導入を選択肢として検討すべき図書館と考えられることから、当該制度の活用を基本に検討します。</u></p> |
| 9 評価方法について | 12ページ | <p>PDCAの観点から、課題がどれくらい解決されたかとか、達成できたかということをはかることも大事だと思うが、一方で、デジタル化やコロナ禍で図書館の在り方も変わってくる中で、図書館としての何か新しい価値を今後見いだしていくことも大事だと思う。そうなったときに、課題がどれくらい解決できたという話とはまた別の切り口で、各図書館で面白い取組をやられているところもあるので、<u>インプット、アウトプットに加えてアウトカムのような形で、どんな波及効果が出たかを見ていくことも大事なと思う。</u></p> | 30ページ | 基本方針6 専門性と効率性を両立した運営体制 | (3) 事業・運営の指針・目標の設定 | ③図書館運営の成果を的確に把握できる評価指標の検討 | <p>有効有用な評価をするための評価指標を検討します。事業の回数や利用の量などの<u>アウトプットに関する指標だけでなく、利用者や地域社会に生じた変化や与えた影響を把握するアウトカム指標も検討・活用し、PDCAによる計画評価に取り組んでいきます。</u></p> |

**令和 5 年度 世田谷区立図書館運営協議会
各館取組みシート**

**第 2 回（令和 5 年 1 0 月 2 5 日）
世田谷区立図書館運営協議会 対象館分**

目 次

○各館取組みシート・各館施設等の概要（令和5年3月31日現在）

梅丘図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～3

世田谷図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～6

玉川台図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7～9

烏山図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～12

深沢図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13～15

桜丘図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16～18

上北沢図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19～21

鎌田図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22～24

梅丘図書館 (住所: 松原6-41-8 (仮事務所) 運営体制: 一部業務委託)

令和4年度 運営方針 (どういった図書館づくりを実施していくか)

- 「安全で快適な居心地の良い図書館づくり」
- 「地域と連携した魅力ある図書館づくり」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標 (どのような課題をどのように取組むか)

「安全で快適な居心地の良い図書館づくり」

課題・昭和43年に開設されたが、施設の老朽化が著しく、改築工事までの間、図書館の安全管理を徹底する必要がある。

- ・利用者にとって快適で居心地の良い空間となるよう、改築後を見据えた図書館づくりを行っていく必要がある。

目標・老朽化した施設(設備)の修繕、安全管理を行うとともに、災害(地震・風水害等)、システムトラブルなど不測の事態に適切に対応できるようにする。

- ・快適な利用につながるよう、利用者目線で日々の運営状況をチェックし、事務改善に努める。また、改築後の梅丘図書館が、居心地の良い図書館となるよう新たなサービスの取組みを検討する。

「地域と連携した魅力ある図書館づくり」

課題「福祉のまち 梅丘」地域における魅力ある図書館づくりのために、関係機関等と連携して地域特性を活かした事業等の実施を図っていく必要がある。

目標 区民活動団体や関係機関・地域資源との連携を密にし、改築後も魅力を感じてもらえる図書館を目指す。

令和4年度取組みの実施状況 「安全で快適な居心地の良い図書館づくり」

| 取組みに関する指標 | R3 | R4 | 前年度比 |
|---------------------------------|--------------------------|----------------------|--------|
| 図書館内の居心地に関する満足度 (来館者アンケートより) | 38.8% (満足・やや満足) | 39.4% (満足・やや満足) | 101.5% |
| 落ち着いて読書や勉強、考え事ができた(来館者アンケートより) | 53.5% (感じる・やや感じる) | 53.4% (感じる・やや感じる) | 99.8% |
| 図書館職員の接遇について (来館者アンケートより) | 67.3% (満足・やや満足) | 67.3% (満足・やや満足) | 100% |
| 開館日に関する満足度 (来館者アンケートより) | (H30) 53.2% (満足・やや満足) | 84.7% (満足・やや満足) | 159.2% |
| 開館時間に関する満足度 (来館者アンケートより) | (H30) 53.3% (満足・やや満足) | 83.2% (満足・やや満足) | 156.1% |
| 全体的な満足度 (来館者アンケートより) | (H30) 59.7% (満足・やや満足) | 71.6% (満足・やや満足) | 119.9% |

- ・多発する雨漏りの応急対策等を行うとともに、職員、委託事業者とは危機管理の意識を日々共有した。
- ・委託事業者とは業務報告定例会を月に1回実施しており、利用者対応の報告や事務処理方法等の改善について共有し、日々の業務にフィードバックして取り組んでいる。
- ・令和元年度からの一部業務委託による運営方法の変更に伴い、開館日・開館時間の延長、図書除菌機の設置など利用者の利便性向上に向けたサービスを展開し、令和4年度にいたるまで満足度の向上につながっている。

令和4年度取組みの実施状況 「地域と連携した魅力ある図書館づくり」

| 取組みに関する指標 | | R3 | R4 | 前年比 |
|--------------------|------|-----------------------|--------------------------|--------|
| 乳児向けおはなし会 | 実施回数 | 9回 | 45回 | 500% |
| | 参加者数 | 90名 (大人43名、子ども47名) | 348名 (大人173名、子ども175名) | 386.7% |
| 出張おはなし会 (小学校対象) | 実施回数 | 実施なし | 4回 | - |
| | 参加者数 | 実施なし | 137名 | - |
| 布絵本実績 | 所蔵数 | 59冊 | 62冊 | 105.1% |
| | 貸出数 | 162回 | 236回 | 145.7% |

- ・おはなし会について、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は十分に実施できなかったが、令和4年度は小学校への出張おはなし会を再開したほか、乳児向けおはなし会ではボランティアと連携して、週1回ペース程度の回数を実施することができた。来館者アンケートでは、読み聞かせの活動もとてもよく、子どものころよく聞きに行かせていただいた。とのご意見があった。
- ・布絵本制作ボランティアグループが作成する布絵本を、世田谷区内で唯一所蔵、貸出を行っている。毎年、新しい作品が作成されると、すぐに貸出される状況であり、利用者からは大変好評である。



令和4年度の取組みに対する自己評価

「安全で快適な居心地の良い図書館づくり」

- ・来館者アンケートの「落ち着いて読書や勉強、考え事ができた」の項目では、前年比は微減しているが、区内の図書館としては高い数値である。これは開館日・開館時間が延長されたことや、閲覧席数が地域図書館として最多であり、中高生世代から大人まで様々な用途で利用いただいていることが考えられる。改築後についても、現状と同程度またはそれ以上の閲覧席数を維持するとともに、飲食できる空間の確保や、近隣の大学等と連携して中高生世代を対象とした学習支援等の交流イベントを検討するなど、多世代で滞在・交流できる居心地の良い図書館づくりに取り組んでいく。

「地域と連携した魅力ある図書館づくり」

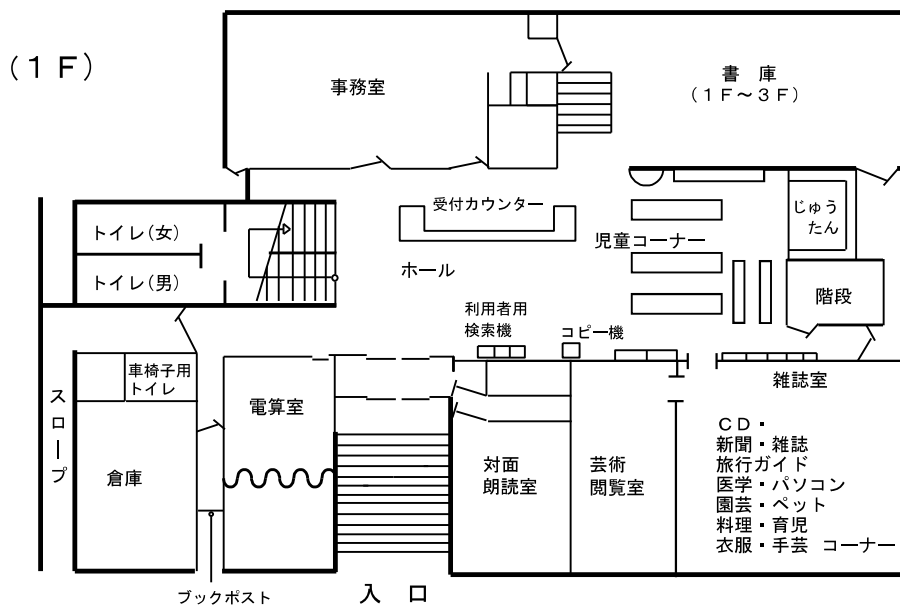
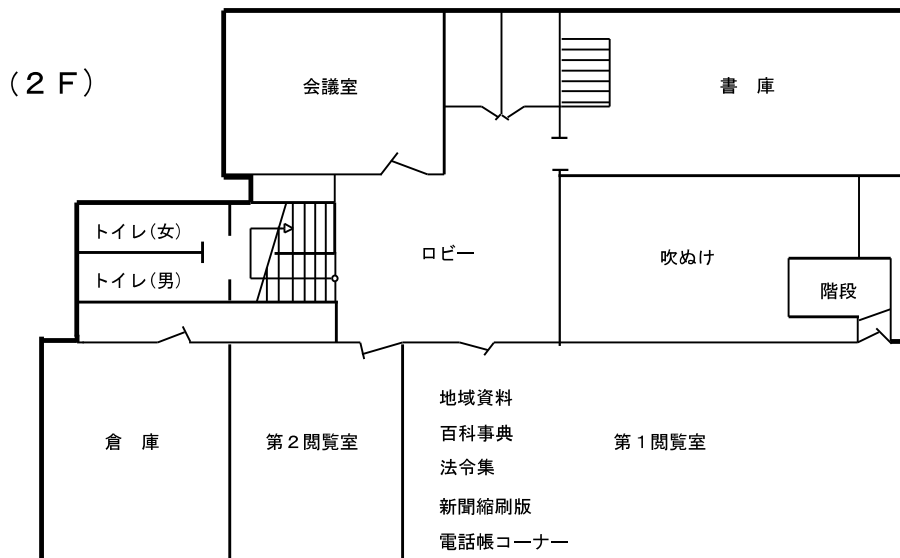
- ・地域特性である「福祉のまち 梅丘」を踏まえ、子育て家庭を対象とした乳児向けおはなし会を、地域図書館としては回数も多く実施することができた。
 一方で、新型コロナウイルスによる影響や、職員数の減、改築工事に向けた準備等により、障害者や高齢者等を対象にした事業の実施が不十分であった。改築後は、保健医療福祉の拠点である「うめとびあ」や羽根木公園内にあるプレーパークなどの地域資源を活かして、様々な地域連携事業や資料の収集を展開していくことが、図書館の利用にもつながり魅力ある図書館になっていくと考える。

図書館運営協議会からの意見・提案

2. 地域図書館

(1) 梅丘図書館

| | |
|-------|----------------------------------|
| 開設 | 昭和43年4月10日 |
| 所在地 | 代田4-38-10 (単独施設) |
| 構造 | 鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 |
| 床面積 | 1,545.9m ² |
| 対面朗読室 | 1室 |
| 閲覧席 | 116席 (パソコン利用可能席: 12席、コンセント口数: 0) |
| 資料数 | 図書資料 88,333 |
| | 音響資料 1,849 |
| | 合計 90,182 |



令和4年度 運営方針 (どういった図書館づくりを実施していくか)

- * 留意点 新型コロナウイルス感染症の動向が十分見えない中、衛生面の制約下での設定・取組みとなった。
 - 「魅力的な環境づくり」
 - 「地域や他機関と連携した図書館づくり」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標 (どのような課題をどのように取組むか)

「魅力的な環境づくり」

課題 玄関から細長く伸びるワンフロアのため、館内全体の見通しがよくなく、特に奥まった場所の一般書の書架群や企画展示などがわかりにくい。合同庁舎内で目立たない。

目標 一般書の企画展示を工夫して配置・演出する。
メリハリのある玄関・館内の装飾・表示などを施し、より立ち入りやすい雰囲気をつくる。

「地域や他機関と連携した図書館づくり」

課題 乳児健診会場と隣接している立地をより生かした行事運営。地元商店街等との地域連携。

目標 乳幼児向け行事への参加促進。コロナ明けの地域行事への参加復帰。

令和4年度取組みの実施状況 「魅力的な環境づくり」

| 取組みに関する指標 | R3 | R4 | 前年比 |
|-----------------------|-----|--|------|
| 図書企画展示コーナーの設定頻度 (一般書) | 14回 | 20回 (うち継続1) | 143% |
| 装飾・表示の改善 | - | ・玄関看板の設置 ・行事の立看板新設 ・児童コーナーの装飾アップなど | - |

・毎月ごとの図書企画展示に加え、時宜に適したテーマ展示も随時に行った。ウクライナ侵攻への区声明や区議会反対決議等を踏まえた令和4年2月「国際紛争」コーナーは反響があり、4年度を経て現在まで継続展示(受付カウンター正面)。併置のパスファインダー「世田谷区空襲」(当館主体で編集)は当館のみで異例の500部超の配布実績。

・数値化しにくいですが、他官公署の合意を得て無機質な合同庁舎ホールに、図書館表示や行事案内の立て看板を設置。児童コーナーは遠目にも目をひくよう、無色無装飾だった壁面に彩色・工作を施し、子ども連れの入館誘導の効果を実感できている。

・その他、細かい禁止規定の連なる掲示類を一掃し、シンプルな意匠によるマナー表示に切り替えたところ、騒ぎなどへの苦情が減少するなど相互マナーと美観の向上に役立っている。



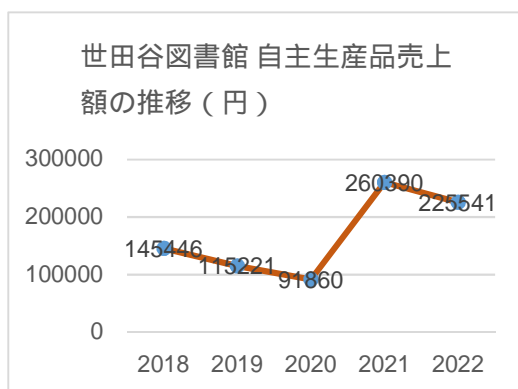
令和4年度取組みの実施状況 「地域や他機関と連携した図書館づくり」

* 行事の数値変動についてはR3年度の休止期間を考慮する必要がある。

| 取組みに関する指標 | R3 | R4 | 前年比 | |
|---------------|---------------|------|------|------|
| 乳幼児向け行事への参加促進 | 赤ちゃんお話し会(月1回) | 44名 | 194名 | 440% |
| | はじめての絵本(月3回) | 160名 | 248名 | 155% |

| | | | |
|--------------------|----------------|-----------------|-----|
| 自主生産品（福祉作業所等）の販売促進 | 260,390 円 | 225,541 円 | 87% |
| 幕末維新まつり参加 | （中止） 館内展示のみ | （中止） 館内展示と講座 | |

- ・母子保健法による乳幼児健診(3 か月・1 歳半・3 歳等)等をとらえ、図書館認知と利用促進をはかるため、2 事業を実施。3 年度はコロナ対策のため「赤ちゃんお話し会」は3 か月間のみ。「はじめての絵本」は行事形式から自由参観形式に切り替えて継続維持。4 年度の「赤ちゃんお話し会」は参加順調で、定員超のため急遽2 回公演も2 度あった。ともに館員の積極的な声かけが功を奏しており、今後の潜在的な需要への対応を検討している。
- ・自主生産品販売は、受託事業者事業（収益はすべて生産者 / 障害者就労施設へ）。R 4 年度は生産事情で入荷停滞し、本来はR 3 年度越えの収益も見込めた実績。フロア奥の売り場を受付カウンター横に移設し、キャンペーン企画などで販売促進。団体自体の紹介PR 展示を行い、新規の大量受注も喚起。区障害福祉部からコロナ禍の福祉就労では異例の伸長だとして見学・聴取を受けた。



地域社会との繋がりの表現ともなった。

- ・地元商店街主催の幕末維新まつり自体は4 年度も中止となったが、館内展示と区立郷土資料館の学芸員によるミニ歴史講座(10 名参加)を開催して地域特性事業を継続。大学関係等の地域連携を調査検討する年度にもあてた。その結果、R 5 年度は郷土資料館とも実務連携を保ち、商店街まつりの参加も再興、国土館大学総務課と文学部教育学科と連携・協力を得て2 つの企画実施に至る。

令和4年度取組みに対する自己評価

いずれも多様化する利用者の態様とニーズをとらえた方策を、中期的な観点から講ずる必要がある。

「魅力的な環境づくり」

一定の前進を見ることができたが、「利用者の目線にたった」環境づくりの改善においてはセルフプランニングだけでは限界もある。今後は他館の好事例をより研究し、利用者や学識経験者からの意見を仰ぐなどして、利用者参加型を視野に入れながら改善をはかる。

「地域や他機関と連携した図書館づくり」

地域の各チャンネルとのパートナーシップ形成においては力不足を認めない。各企画については発展性の薄い単発物だけに頼らず、経年ごとに参加の輪が広がる成熟過程を伴うプランニングが特に求められる。また、所蔵資料の収集・構成にもそれらテーマ性をより反映させるべき。

図書館運営協議会からの意見・提案

玉川台図書館（住所：玉川台1-6-15 運営体制：直営）

令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）

- 「大人の学びを豊かにする図書館」
- 「地域に根差した魅力あふれる図書館」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

「大人の学びを豊かにする図書館」

課題 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、イベントや朗読会など、開催・集客の難しさがあった。

・テーマ本の設定など、普段陽の目を見ない資料に光を当てるような工夫が必要。

目標 ・大人を対象にした朗読会・講演会などの事業をできる限り実施する。
 ・様々な分野をテーマとした本の展示を充実させ、利用者のその分野に興味を持ってもらうように取り組む。

「地域に根差した魅力あふれる図書館」

課題 来年開設50周年を迎えるにあたり、地域に根差した図書館として地域資料の充実や地域との連携を推進していく必要がある。

目標 地域資料の充実に努めるほか、新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止となっていた地域と連携した事業の実施など、地域に根差した魅力ある図書館を目指す。

令和4年度取組みの実施状況 「大人の学びを豊かにする図書館」

| 取組みに関する指標 | | R3 | R4 | 前年比 |
|--------------|------|-----|-----|------|
| 美術講演会（年1回開催） | 参加者数 | 24名 | 20名 | 83% |
| 大人の朗読会 | 実施回数 | 4回 | 6回 | 150% |
| テーマ本展示 | 展示回数 | 6回 | 7回 | 116% |

- ・美術講演会について、世田谷美術館の元副館長 勅使河原純氏に講演を依頼。美術館のパンフレット配布など美術館のPRと、図書館の世田谷美術館コーナーのPRも行う。4年度はコロナの影響で開催時期が9月にずれ込んだことで、募集人数・参加人数が少なくなっている。
- ・朗読を楽しむ会「言の葉」による大人のための朗読会を隔月1回（奇数月第二水曜）開催した。子どものおはなし会との違いを明確にするために、昨年までの「大人のおはなし会」という名称を「大人の朗読会」に変更。参加者がより参加しやすくなるように、開催時間を午前から午後へ変更した。
- ・テーマ本展示については、「日本エッセイスト・クラブ賞」や「都内の史跡めぐり」、「ちょっとガンについて考えてみる」など、様々な分野のテーマを設定して本の展示を行った。



美術講演会の様子

令和4年度取組みの実施状況 「地域に根差した魅力あふれる図書館」

| 取組みに関する指標 | | R3 | R4 | 前年比 |
|-------------------|----------|--------|--------|--------|
| 地域資料蔵書数（一般図書地域資料） | | 1,733点 | 1,760点 | 101.6% |
| 芸術祭・コミュニティまつり | リユース本提供数 | なし | 111冊 | |
| 健康貯金スタンプラリー | 開催期間 | なし | 41日 | |
| | 参加者数 | | 180名 | |
| お正月あそべあそべまつり | リユース本提供数 | なし | 187冊 | |

- ・世田谷美術館と連携し、地域資料の収集を行い、令和3年度に比べ蔵書数は増加した。
- ・芸術祭・コミュニティまつりは、玉川台区民センター主催で、例年、芸術祭とコミュニティまつりが別々に実施しているが、新型コロナウイルスの影響により令和4年度は同時に実施した。図書館はリユース本の提供を行った。
- ・用賀あんしんすこやかセンター主催の健康貯金スタンプラリーのステーションとして協力した。普段、図書館利用のない方にも、立ち寄っていただける機会を広げた。
- ・玉川台区民センターと児童館が共催でお正月あそべあそべまつりを行っている。例年、もちつきなどのお正月行事だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で3年度は開催なし、4年度も飲食なしで行われた。図書館としても協力して、主に児童本を中心としたリユース本を提供した。



健康貯金スタンプラリーのステーションとして協力

令和4年度取組みに対する自己評価

「大人の学びを豊かにする図書館」 「地域に根差した魅力あふれる図書館」

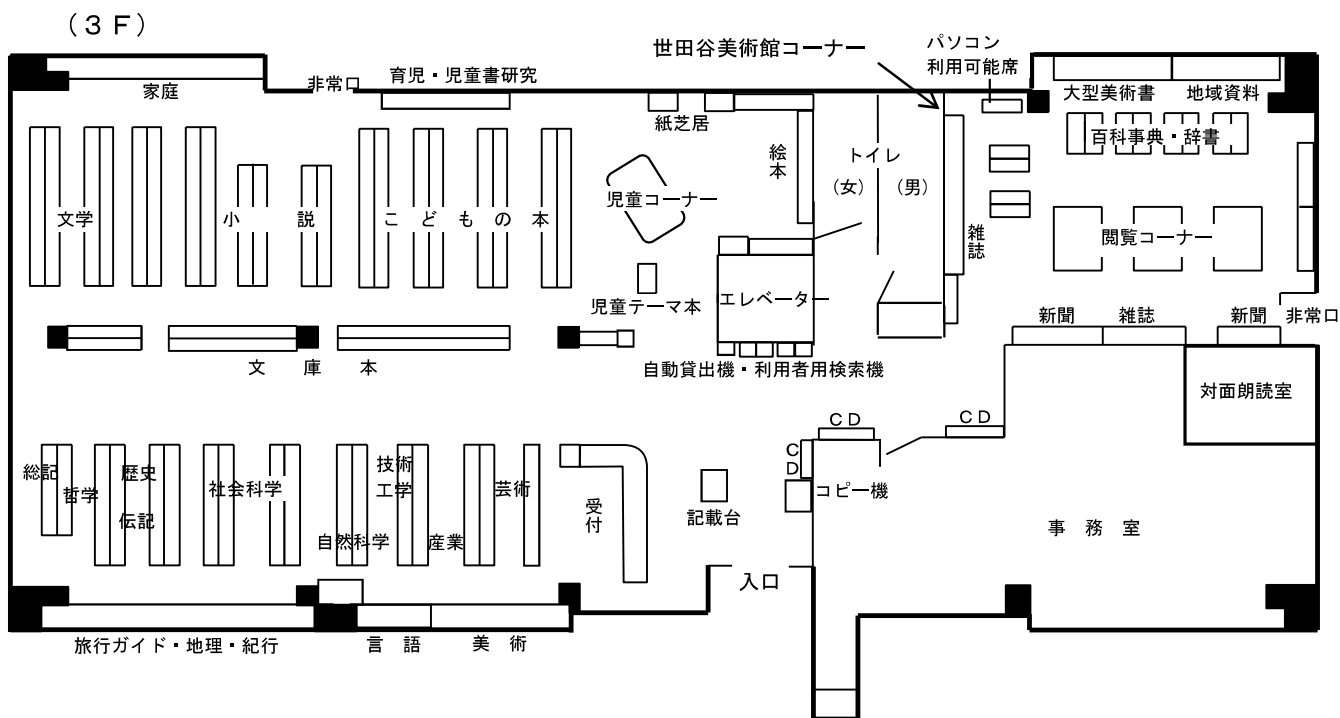
玉川台図書館は1階区民センター、2階児童館という複合施設であり、センターの運営協議会も加わった中で、全体のイベントなどが行われている。その他、其々のイベントでも、地域との関わりを広げるべく、努力している。

地域に根差した図書館ということで、近隣地域の資料収集、特に世田谷美術館とは、事業運営に関する協定を平成23年から結んでおり、展示会の図録などを多数寄贈いただいている。今後の課題としては、出版数の少ない近隣地域資料を、どのように充実させていくかということと、限られた書架で特性を出し、維持していくための工夫が必要となっているということが考えられる。この2点を中心に、従来の図書館サービスをしっかりと行なっていくことが重要と考えている。

図書館運営協議会からの意見・提案

(5) 玉川台図書館

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 開設 | 昭和48年6月1日 |
| 所在地 | 玉川台1-6-15 |
| | 複合施設名称 『玉川台区民センター』 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート地上3階地下1階建 (図書館は地上3階部分) |
| 床面積 | 689㎡(図書館部分) |
| 対面朗読室 | 1室 |
| 閲覧席 | 20席(パソコン利用可能席:2席、コンセント口数:0) |
| 資料数 | 図書資料 91,288 |
| | 音響資料 3,535 |
| | 合計 94,823 |



令和4年度 運営方針 (どういった図書館づくりを実施していくか)

「図書館利用の機会を創出する事業の実施」

「図書館の利便性を高める環境づくり」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標 (どのような課題をどのように取組むか)

「図書館利用の機会を創出する事業の実施」

課題 地域に根ざした身近な図書館として感じられるよう、新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ、利用者の課題解決や図書館利用につながる事業を実施していく必要がある。

目標 これまでに実施していなかった新たな事業に取り組むなど、図書館利用につながる企画等を展開する。

「図書館の利便性を高める環境づくり」

課題 烏山図書館は好立地で利用も多く、利用者のニーズに応えるために図書館の利便性を高める取組みが必要である。

目標 指定管理者制度導入に伴い、開館時間の延長を行うほか、コロナ禍でも安心して利用できる環境を整備し、図書館の利便性を高める取組みを行う。

令和4年度取組みの実施状況 「図書館利用の機会を創出する事業の実施」

| 取組みに関する指標 | | R3 | R4 | 前年比 |
|------------------------------|--|-------|------------|------|
| 主な講座・イベント | | | | |
| からすのなぞときおはなしかい (蘆花まつりとの連携事業) | 蘆花まつり開催時に、烏山区民センター前広場でクイズやおはなし会を実施 | 未実施 | 参加者 38名 | - |
| はじめてのタブレット PC 講習会 | タブレット型PCを使用し基本操作や図書館HPの利用方法を紹介 | 未実施 | 参加者 8名 | - |
| 楽しいプログラミング教室 みんなでViscuit | 小学生を対象にプログラミングツールViscuitを使い、プログラミング体験を実施 | 未実施 | 参加者 19名 | - |
| 本の世界に入ってみよう | 合成撮影技術(クロマキー)を使用し、本の世界に入ったような体験を提供 | 未実施 | 参加者 23名 | - |
| 一般向け企画展示 | 回数 | 6回 | 15回 | 250% |
| 子ども向け企画展示 | 回数 | 11回 | 14回 | 127% |
| デジタルサイネージ | 未設置 | 新たに設置 | - | |



からすのなぞときおはなしかい



本の世界に入ってみよう



2022年10月展示

・コロナ禍の状況に注意しながら、新規の自主事業を積極的に実施した。上記以外にも、「ボードゲームで認知機能を活性化しよう!」、「わくわく本の福袋」、「烏山図書館出前寄席」などの新たな取り組みを多く行った。事業ごとのアンケートでは概ね高評価をいただき、利用者からの期待を感じられた。

- ・烏山図書館の「顔」ともいえるエレベーター前のガラススペースでの展示を隔月での入替から毎月へと変更し強化した。飾り付けにも工夫を凝らして利用者の目を惹き、関心を持っていただいた。
- ・広報活動として、図書館だよりを発行、オンラインプラットフォーム note を開設し、積極的な情報発信に努めた。
- ・図書館の出入口にデジタルサイネージを設置し、企画展示やイベントについてなどの図書館の情報に加えて区のお知らせや近隣の公共機関からの依頼による地域の情報も発信している。

令和4年度取組みの実施状況 「図書館の利便性を高める環境づくり」

| 取組みに関する指標 | R3 | R4 | 前年比 |
|-----------------------------|----------------------|----------------------|--------|
| 開館日に対する満足度 (来館者アンケートより) | 64.7% (満足・やや満足合算) | 78.1% (満足・やや満足合算) | 120.7% |
| 開館時間に対する満足度 (来館者アンケートより) | 60.7% (満足・やや満足合算) | 75.1% (満足・やや満足合算) | 123.7% |
| 図書館除菌機 | | 利用回数：8,253回 | |
| 区内障害者施設自主生産品の販売 | | 販売額：63,900円 | |

- ・令和4年度から開始した開館時間の延長に関しては大きな混乱なく、滞在型の利用が多く見受けられる。

火～土曜日：午前9時～午後9時、日・月曜日、祝・休日：午前9時～午後8時（令和3年度以前：火～日曜日は午後7時まで、月曜日、祝・休日は午後5時まで）

- ・利用者がより図書館を安心して利用いただくため、図書除菌機「和みの館」を設置した（紫外線により同時に10冊まで除菌可能）。
- ・区内障害者施設と連携し、図書館内で区内障害者施設の自主生産品の展示・販売を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策としてソーシャルディスタンスを周知する館内掲示や、図書館利用にあたってピクトグラムを用いたサイン表示を行った。



図書除菌機



ピクトグラムを用いたサイン表示

令和4年度の取組みに対する自己評価

「図書館利用の機会を創出する事業の実施」

- ・実施した取組みは児童向けを中心にたいへん好評で「次回も開催を」とのご要望が多かった。地域の連携に関しては、お声がけをいただいたものにとどまったことを反省している。今後は、もっと地域に溶け込み、図書館側が主体的に企画したものを、地域の皆様と取り組んでいきたい。

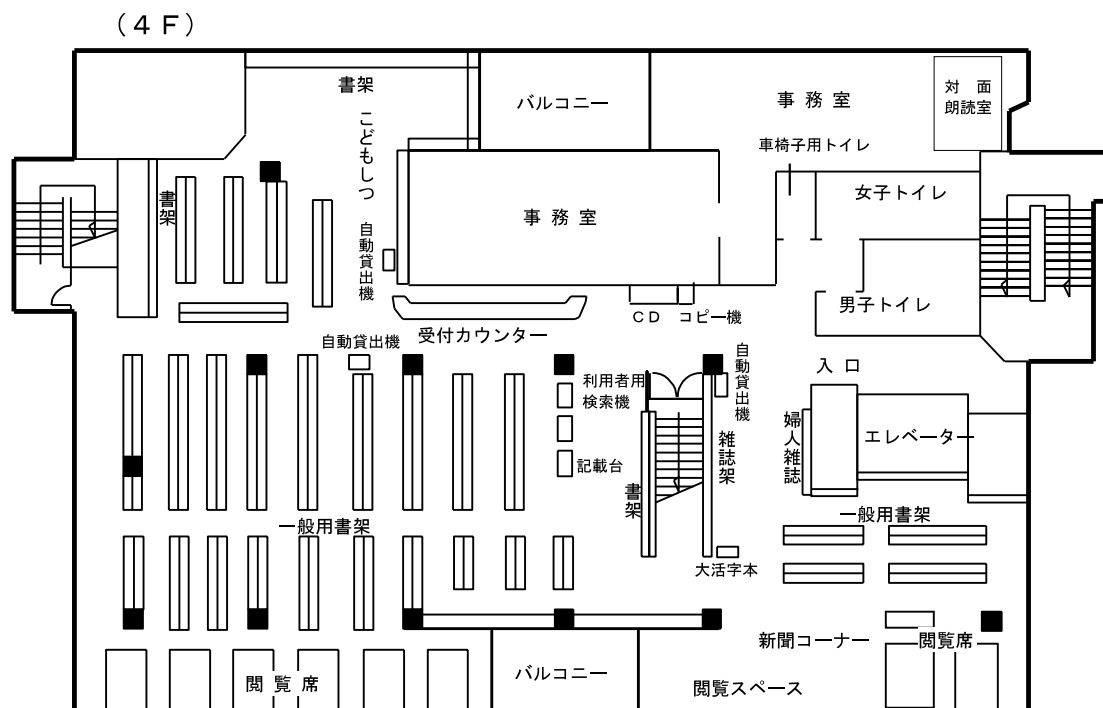
「図書館の利便性を高める環境づくり」

- ・アンケート結果だけでなく、利用者から直接時間延長に対してお礼の言葉もカウンターなどで頂戴し、成果があったと捉えている。図書除菌機は、絵本を借りる方によくご利用いただいている傾向にあり、徐々に利用する方が増えている。その他、障害者施設自主生産品の取組みやサイン表示を工夫するなど、図書館の利便性の高い図書館として認知していただくよう努力している。
- ・デジタルサイネージは館内でのブラウジングを楽しむきっかけづくりを担っている。利用者の多くはエレベーターの待ち時間にご覧になられている様子である。

図書館運営協議会からの意見・提案

(7) 烏山図書館

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 開設 | 昭和54年10月2日 |
| 所在地 | 南烏山6-2-19 |
| | 複合施設名称 『烏山区民センター』 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート地上4階地下1階建 (図書館は地上4階部分) |
| 床面積 | 1,079㎡ (図書館部分) |
| 対面朗読室 | 1室 |
| 閲覧席 | 56席 (パソコン利用可能席: 56席、コンセント口数: 12) |
| 資料数 | 図書資料 95,636 |
| | 音響資料 3,605 |
| | 合計 99,241 |



令和4年度 運営方針 (どういった図書館づくりを実施していくか)

- 「地域に根ざした図書館づくり」
- 「利用者ニーズに応える図書館運営」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標 (どのような課題をどのように取組むか)

「地域に根ざした図書館づくり」

課題 駅から離れており、利用が近隣の住民に固定しがちだが、地域の方々と連携し、学校や児童館と協力して、幅広い層に働きかけ、地域の活性化の拠点となることが求められている。

目標 区民センターや児童館との共催イベントを通じて、図書館をアピールし、利用者層の拡大を図る。また、出張おはなし会や、図書館見学・職場体験の受入など学校との連携を強化する。

「利用者ニーズに応える図書館運営」

課題 社会全体の活字離れが進むなか、図書館の魅力を発信し、利用者ニーズに応える蔵書を収集することで、読書文化を守り、利用者に情報や知識を届け、より豊かな生活を手に入れられる図書館をつくっていくことが求められている。

目標 展示コーナーにおいて図書館の特色を生かした魅力を発信するとともに、障がい者・高齢者・多文化サービスの充実を図る。さらに利用者のニーズを反映した資料収集を行う。

令和4年度取組みの実施状況 「地域に根ざした図書館づくり」

| 取組みに関する指標 | | R3 | R4 | 前年比 |
|---------------------|------|---------|-------|-------|
| おはなし会 | 実施回数 | 15回 | 56回 | 373% |
| | 参加人数 | 107名 | 563名 | 526% |
| 図書館見学 | 実施回数 | アンケートのみ | 1校 | |
| | 参加人数 | | 108名 | |
| 区民センター・児童館との共催行事 | 実施回数 | 休止 | 4回 | |
| | 参加人数 | | 281名 | |
| 出張おはなし会 | 実施回数 | 休止 | 2校6公演 | |
| | 参加人数 | | 231名 | |
| 区立小・中学校への調べ学習支援貸出実績 | 貸出回数 | 18件 | 18件 | 100% |
| | 貸出冊数 | 690冊 | 684冊 | 99.1% |

- ・区民センター・児童館との共催行事は、敬老の日記念(近所のデイホームに渡すプレゼントを区民と作成)・クリスマス会(会場運営等)・新年子どもまつりと深沢文化祭(リユース本の配布コーナー)を行った。
- ・出張おはなし会では小学校2校におもむき、2年生向けに手あそびや読み聞かせを行った。
- ・子ども読書リーダー(小学生3名)を受入れし、継続的に図書館業務に参加してもらった。
- ・小学校中堅教諭資質向上研修1名と中学生職場体験2名を受け入れした。
- ・建物内にある深沢児童館にスタンプカードを配布してもらい、図書館に持ってきた子どもたちにリユース本や工作などの入った福袋をプレゼントした(夏のふかふかキャンペーン)。(201袋)

令和4年度取組みの実施状況 「利用者ニーズに応える図書館運営」

| 取組みに関する指標 | | R3 | R4 | 前年比 |
|--------------------------------|----|-------------------------|-------------------------|--------|
| 一般・児童資料 貸出数 | 一般 | 140,892 冊 | 143,305 冊 | 101.7% |
| | 児童 | 143,065 冊 | 147,536 冊 | 103.1% |
| 本の種類や数についての満足度 (来館者アンケートより) | | 76.1% (満足・やや満足・普通合算) | 83.6% (満足・やや満足・普通合算) | 109.8% |

- ・児童文学作家中川李枝子氏の著書を集めた展示コーナー「ぐりとぐらコーナー」があり、著書を幅広く収集している(200冊程度)が、特に代表作の「ぐりとぐら」に関しては、外国語に翻訳された6ヶ国語の絵本や点字版も所蔵している。
- ・令和4年10月に中川李枝子氏が名誉区民に顕彰されたため、コーナーの装飾でお祝いした。
- ・利用者の子どもたちが書いた、中川李枝子氏にあてたお手紙を中央図書館経由で送ったところ、インタビューが実現し、中央図書館発行の広報誌「ざ・ちゅうおうぐれす」で特集され特別な記念となった。
- ・LLブック(記号や表現を工夫したわかりやすく読みやすい本)のコーナーを新設した。LLブックは、コーナーをつくり、まとめておくことで利用者の興味をひき、貸出が増えた。さわれる絵本や点字の本もあり、配慮が必要な方への理解を広めることができた。
- ・書架に隣の東京学芸大学附属世田谷中学校の生徒たちが書いたおすすめ本のPOPを飾った。
- ・選書は偏らないよう複数人で行き、特に、自館の予約が多いものやレファレンスに役立つものを積極的に受入している。また、除籍のときは、貸出回数や、本の内容など考慮するようにしている。



ぐりとぐらコーナー



LLブックコーナーの表示

令和4年度取組みに対する自己評価

「地域に根ざした図書館づくり」

- ・コロナ禍で休止していたイベントを、規模を縮小しながら再開した。制限のあるなかで、地域の活気を取り戻しはじめることができた。図書館見学後に、子どもたちが個別に遊びにきたので、図書館に興味を持ってくれた様子だった。行事を通じて、多くの子どもたちに、本の楽しさや読み聞かせの面白さを伝えることができた。また、調べ学習等を通じて、教育支援に貢献することができた。

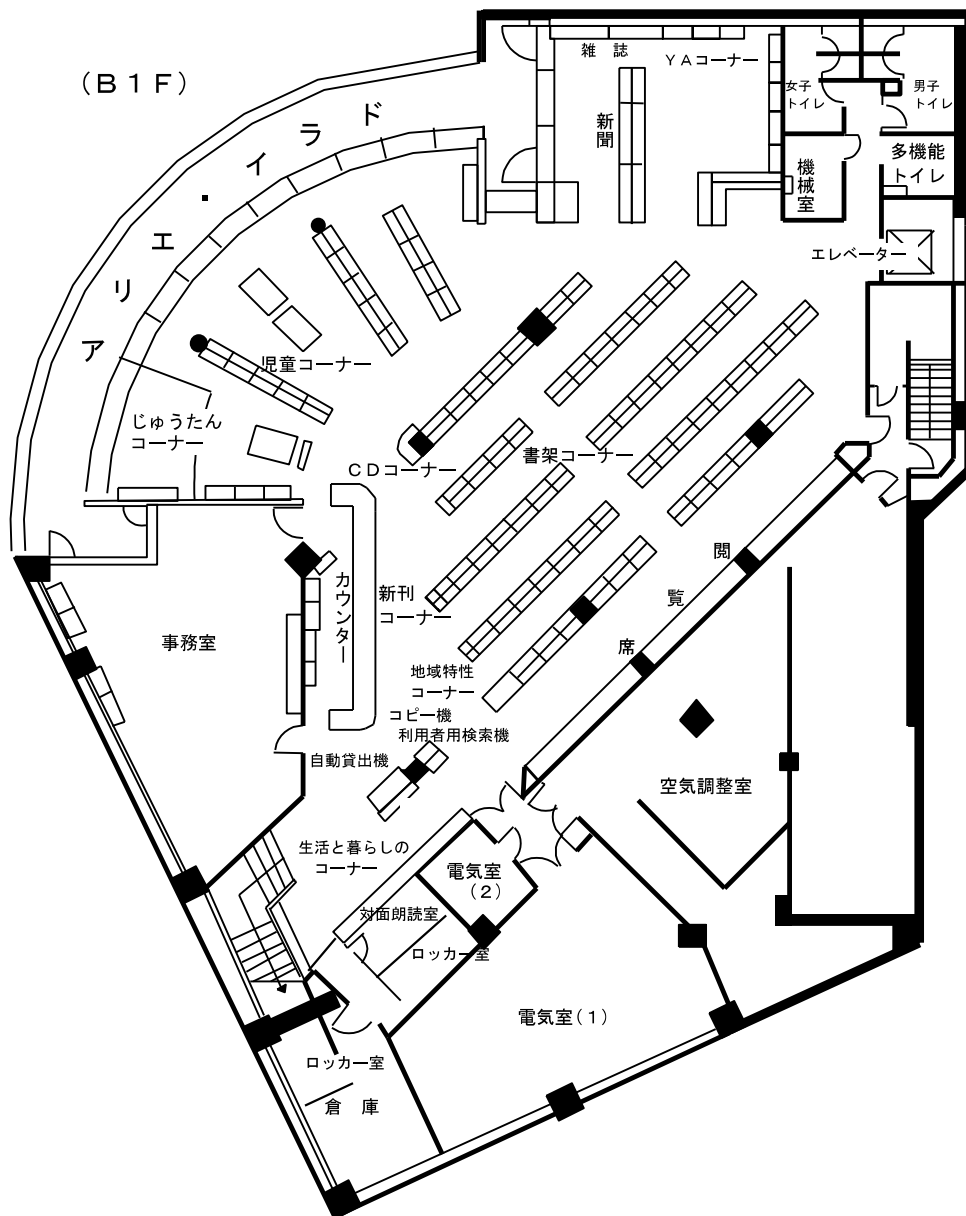
「利用者ニーズに応える図書館運営」

- ・職員のアイデアで、中川李枝子氏への手紙やLLブックコーナーの新設などさまざまな企画を実施し、図書館独自の魅力については、利用者に伝えることができた。企画に参加してもらうことで、利用者「自分の図書館」として親しみを感じてもらえた。
- ・資料収集については、特に、深沢図書館の児童書に関しては、一般書の貸出数を上回り、充実している。また、令和4年度利用者アンケートの「本の種類や数に対する満足度」については、規模の小さい館の中では、「満足」・「不満」どちらも少なく、中程度の評価が多いことから、偏りなく収集はできていると考えるが、今後、利用者のニーズをとらえ、「満足」の評価が増えるよう、バランスをとりながら厳選したものを収集していきたい。

図書館運営協議会からの意見・提案

(9) 深沢図書館

| | |
|-------|--|
| 開設 | 昭和56年7月19日 |
| 所在地 | 深沢4-33-11 |
| 構造 | 複合施設名称 『深沢区民センター』 鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 (図書館は地下1階部分) |
| 床面積 | 622m ² (図書館部分) |
| 対面朗読室 | 1室 |
| 閲覧席 | 12席 (パソコン利用可能席: 4席、コンセント口数: 0) |
| 資料数 | 図書資料 79,356 音響資料 2,638 合計 81,994 |



令和4年度 運営方針 (どういった図書館づくりを実施していくか)

「利用者ニーズと地域特性を踏まえた蔵書の構成」

「常に親切で丁寧な接客を意識した窓口対応」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標 (どのような課題をどのように取組むか)

「利用者ニーズと地域特性を踏まえた蔵書の構成」

課題 幅広い年齢層の方に利用していただいているが、主な利用者層のニーズを把握するとともに、地域特性等も踏まえた蔵書構成を図っていく必要がある。

目標 主な利用者層や幅広い年齢層のニーズを意識した選書を行う。また、近隣の小中学校との連携を図り、地域に要望のある蔵書構成を図っていく。

「常に親切で丁寧な接客を意識した窓口対応」

課題 新型コロナウイルス感染症対策により、マスクなどの着用により表情が伝わりにくく、利用者との接し方に難しさを感じるがあった。

目標 利用者に不快感のないよう、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にも考慮し、親切で丁寧な接客を行う。

令和4年度取組みの実施状況 「利用者ニーズと地域特性を踏まえた蔵書の構成」

| 取組みに関する指標 | R3 | R4 | 前年比 |
|----------------------------------|------------------------|------------------------|--------|
| 認知症講演会 (認知症当事者による絵本の紹介や読み聞かせの実施) | | 参加者 56名 | |
| 地域資料蔵書数 | 993点 | 1,031点 | 103.8% |
| 本の種類や数についての満足度 (来館者アンケートより) | 56.3% (満足・やや満足) | 70.7% (満足・やや満足) | 125.6% |
| 探していた情報や地域を得ることができた (来館者アンケートより) | 79.1% (そう感じる・やや感じる) | 80.4% (そう感じる・やや感じる) | 101.6% |

- ・令和4年度より経堂地区の認知症希望条例アクションチームに図書館として参加している。チームにおける図書館としての活動で、3月に認知症講演会 (図書館での課題解決事業でもある) を行い、その際、公益社団法人認知症の人と家族の会から出ている推薦図書のリストをもとに、区内に所蔵のない認知症関連の図書を購入した。
- ・地域資料として、近隣に在住していた俳優の森繁久彌氏に関する資料を収集した。
- ・主な利用者である高齢者を対象とした蔵書のほか、児童本や文学等の幅広い層を対象とした蔵書の収集を図った。



森繁久彌コーナー

令和4年度取組みの実施状況 「常に親切で丁寧な接客を意識した窓口対応」

| 取組みに関する指標 | R3 | R4 | 前年比 |
|--|--------------------|--------------------|--------|
| 図書館職員の接遇の満足度 (来館者アンケートより) | 60.9% (満足・やや満足) | 76.1% (満足・やや満足) | 125% |
| 大声で騒いだり、館内を走り回るなど不適正な利用者への職員対応の満足度(来館者アンケートより) | 33.2% (満足・やや満足) | 41.3% (満足・やや満足) | 124.4% |
| 図書館内の居心地についての満足度 (来館者アンケートより) | 41.4% (満足・やや満足) | 56.5% (満足・やや満足) | 136.5% |

- ・ 職員の接遇について、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、利用者には不快感を与えないよう丁寧な接遇を心掛けた。
- ・ レファレンスやクレームとなった事例を職員内で共有し、今後の対応について検討を行った。
- ・ 図書館内の居心地の良さを保つために、受付前の閲覧席の状況に気を配り、不適正な利用者への対応に努めた。

令和4年度取組みに対する自己評価

「利用者ニーズと地域特性を踏まえた蔵書の構成」

- ・ スペース的に専用のコーナーを設ける余裕はないが、図書館が入っている区民センターの運営協議会で、認知症講演会の要望があがっていたので、引き続き認知症関連図書の購入は積極的に行っていきたい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館での事業が行えない中、近隣の小中学校との連携について担当地区の船橋希望中学校・桜丘中学校の図書委員会の担当教諭から申し出をいただいた。令和4年度は実現できなかったが、来年度以降 YA 図書のポップ作成(単発で実績あり)を行うことを考えている。今後の連携の中で、YA を含む児童図書の選書についてヒントをいただき、今後中学生・高校生の利用増に繋がられる蔵書構築ができるようになればと思う。
- ・ 都内に9ヶ所しかない「目の教室」(弱視通級指導学級)が近隣の笹原小学校にあるが、コロナ禍ということで交流がなく、担当者も変わって職員が誰も存在を知らない状態となっていたところ、小学校から申し出があり、改めて資料の貸出やおはなし会を行うこととなった。

今後、大活字の児童書等、弱視の子ども達が利用できる資料の選書を図書館として意識して増やしていく。

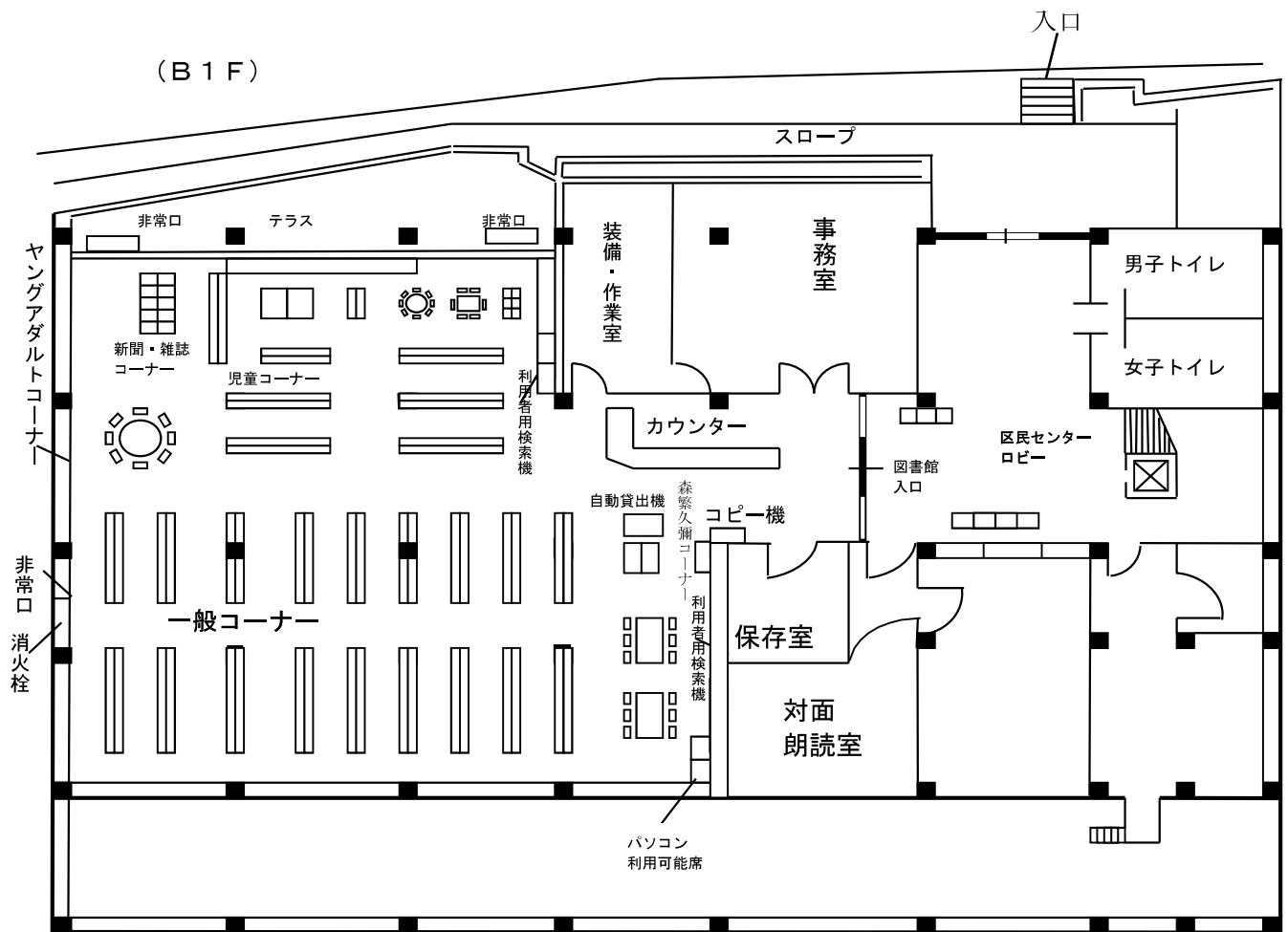
「常に親切で丁寧な接客を意識した窓口対応」

- ・ 来館者アンケートでは、職員の接遇等に関する満足度は向上しており、職員が常に新設かつ丁寧な対応を意識した結果につながっていると考える。
- ・ 住宅地にある図書館であるため、利用者がほぼ近隣の住民で常連の方も多いため、職員に気の緩みが生じるところがあり、アンケートで受付での私語が目立つとの指摘があった。利用者には不快な思いをさせないということも引き続き心がけていきたい。

図書館運営協議会からの意見・提案

(10) 桜丘図書館

開設 昭和59年12月18日
 所在地 桜丘5-14-1
 複合施設名称 『桜丘区民センター』
 構造 鉄筋コンクリート地上2階地下1階建
 (図書館は地下1階部分)
 床面積 640㎡ (図書館部分)
 対面朗読室 1室
 閲覧席 22席 (パソコン利用可能席: 2席、コンセント口数: 0)
 資料数 図書資料 89,716
 音響資料 2,460
 合計 92,176



令和4年度 運営方針（どういった図書館づくりを実施していくか）

「知と学びと文化の情報拠点となる図書館」

「多様な活動等を支援する図書館」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標（どのような課題をどのように取組むか）

「知と学びと文化の情報拠点となる図書館」

課題 新型コロナウイルス感染症による社会情勢を注視しながら、第2次図書館ビジョンに掲げる基本理念「知と学びと文化の情報拠点」の実現に向けて、子どもが本に親しむための取組みや読書・地域文化の情報発信を積極的に実施していく必要がある。

目標 ・上北沢図書館圏内にある小中学校及び児童・乳幼児施設等の機関と連携し、相互支援する。
 ・一般書・児童書のテーマ本の展示・地域在住者の作品展示（影絵、紙芝居）等をとおして、利用者が本にふれあえる機会となるようなネットワークづくりの取組みを実施していく。

「多様な活動等を支援する図書館」

課題 図書館活動への区民参画の促進や図書館外でも本に触れ合う機会を創出するため、地域で活動する関係機関との連携や、ボランティアへの支援等を行っていく必要がある。

目標 ・地域の生涯学習活動を支援するため、区民センター運営協議会及び児童館などと連携した事業を積極的に展開する。
 ・地域で活動するボランティアの育成及び図書館での活動を支援する。

令和4年度取組みの実施状況 「知と学びと文化の情報拠点となる図書館」

| 取組みに関する指標 | | R3 | R4 | 前年比 |
|--------------------------|-------|------|------|--------|
| 職員による出張おはなし会実施実績（区立小学校） | 実施回数 | 3回 | 14回 | 466.7% |
| | 参加児童数 | 43名 | 434名 | 100.9% |
| 職員による出張おはなし会実施実績（児童養護施設） | 実施回数 | 6回 | 11回 | 183.3% |
| | 参加人数 | 55名 | 76名 | 138.1% |
| 調べ学習支援貸出実績 | 件数 | 14件 | 16件 | 114.3% |
| | 冊数 | 382冊 | 426冊 | 111.5% |
| 図書館見学 | 実施回数 | 1回 | 2回 | 200% |
| | 受入人数 | 5名 | 113名 | 2260% |

- ・子ども読書活動の推進として、児童養護施設への出張おはなし会を毎月1回実施した。また、小学校や中学校とは図書館見学の受入れや調べ学習支援の貸出しを実施した。
- ・各種事業については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため実績が少ないが、4年度は社会状況が変わり、ほぼ通常どおりに開催できるようになったので、すべての項目において増加している。
- ・テーマ本の展示については、一般書は毎月、児童書は2か月ごとに、時季にあったテーマを設定し設置した。地域在住者制作の影絵作品を借用し、児童書コーナーに展示した。

令和4年度取組みの実施状況 「多様な活動等を支援する図書館」

| 取組みに関する指標 | | R3 | R4 | 前年比 |
|---|---------|------|------|--------|
| ボランティアとの協働によるおはなし会（幼児から小学生低学年向け） | 実施回数 | 25回 | 46回 | 184% |
| | 参加人数 | 127名 | 224名 | 176.3% |
| | ボランティア数 | 16名 | 29名 | 181.2% |
| サラダ勉強会（学校おはなし会ボランティア入門講座修了生のスキルアップを図って設立された勉強会） | 実施回数 | 2回 | 8回 | 400% |
| | 出席者 | 10名 | 44名 | 440% |
| サラダ勉強会との協働によるおはなし会 | 実施回数 | 1回 | 2回 | 200% |
| | 参加人数 | 10名 | 9名 | 90% |
| | ボランティア数 | 5名 | 9名 | 180% |

- ・ボランティアの図書館活動を支援するために、おはなし会及び勉強会などを協働して実施した。
- ・地域の生涯学習活動支援として、区民センター運営協議会及び児童館と連携し事業に協力した。11月の「上北沢区民センター文化祭」ではリユース本配布、2月の「ひなまつり子どもフェスティバル」ではおはなし会（48名参加）を開催、他機関事業（かるた大会）への協力をするなど、連携を深めるとともに図書館のPRに努めた。
- ・「サラダ勉強会」の活動はメンバーが自発的に行っており、上北沢図書館はサークルの周知や活動場所の提供等を行った。

「サラダ」という名前は、上北沢図書館のキャラクターが5種類の野菜であることにちなんで命名されたといわれている。



令和4年度の取組みに対する自己評価

「知と学びと文化の情報拠点となる図書館」

出張おはなし会や調べ学習支援、図書館見学などを通して、地域の学校や施設とのつながりを再開させることができた。今後も継続して、子ども読書活動推進に向けた協力をしていく。また、テーマ本展示についても、本との出会いを増やす場として継続して実施するとともに、地域住民制作の作品展示を通して地域文化の発信に取組んでいく。

このような取組みや窓口での通常業務を通して、図書館を身近に感じてもらい、図書館利用向上につながるよう努めていく。

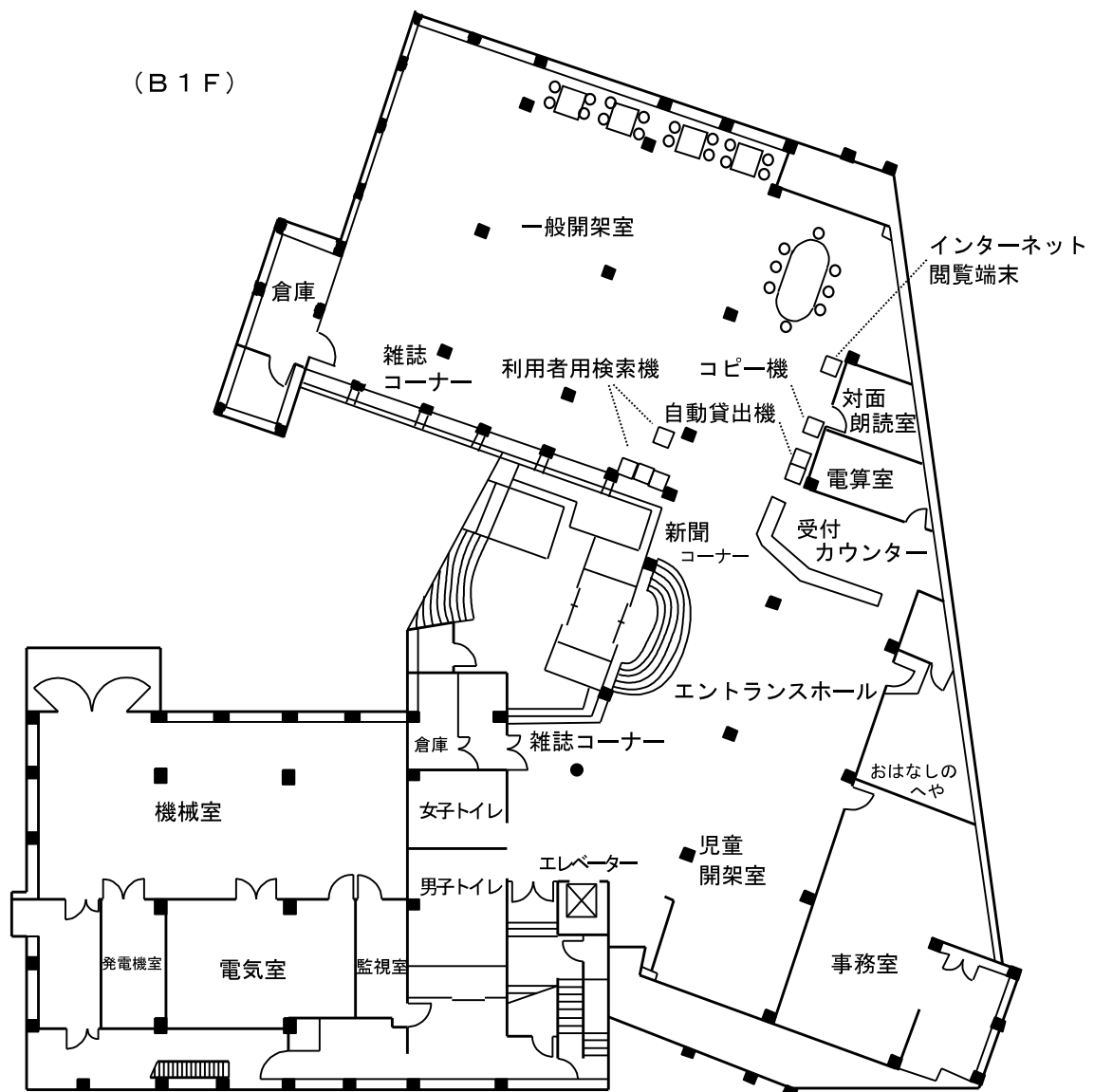
「多様な活動等を支援する図書館」

- ・区民センター運営協議会や他機関事業への協力を行い、活動等の支援を行うことができた。今後も継続していくとともに、図書館の利用にもつながるように図書館のPRもしっかり行っていく。
- ・ボランティアについて、学校おはなし会ボランティア講座修了生との勉強会やおはなし会などを協働して行い、ボランティアの育成と支援に努めた。今後も連携等を密にし、図書館活動への区民参画を促進していく。

図書館運営協議会からの意見・提案

(12) 上北沢図書館

| | |
|-------|--|
| 開設 | 平成元年7月21日 |
| 所在地 | 上北沢3-8-9 |
| | 複合施設名称 『上北沢区民センター』 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 (図書館は地下1階部分) |
| 床面積 | 891m ² (図書館部分) |
| 対面朗読室 | 1室 |
| 閲覧席 | 28席 (パソコン利用可能席: 8席、コンセント口数: 16) |
| 資料数 | 図書資料 81,307 音響資料 2,796 合計 84,103 |



令和4年度 運営方針 (どういった図書館づくりを実施していくか)

- 「利用者満足の高い図書館サービスの実施」
- 「利用者が安全安心して利用できる図書館づくり」

運営方針に基づく主な取組みの課題と目標 (どのような課題をどのように取り組むか)

「利用者満足の高い図書館サービスの実施」

課題 新型コロナウイルス感染症対策による座席数の減少や間仕切りの設置など、利用者に不便を強いる図書館運営が続いている。

目標 座席数を工夫するほか、整理整頓、館内美化に努めるとともに、来館者には丁寧なサービスを心掛け、満足度の充足を図る。

「利用者が安全安心して利用できる図書館づくり」

課題 図書館がある施設の真横には仙川が流れており、更に図書館自体は鎌田区民センター内の地下1階に位置するため、常に雨水等が侵入するリスクがある。



鎌田図書館と仙川

目標 施設の状態を細かくチェックし利用者を危険に晒すことのないよう、また雨漏りや吹込みによる蔵書等の汚損が生じないように予防する。

令和4年度取組みの実施状況 「利用者満足の高い図書館サービスの実施」

| 取組みに関する指標 | R3 | R4 | 前年比 |
|---------------------------------|----------------------|----------------------|--------|
| 図書館内の居心地に対する満足度 (来館者アンケートより) | 51.5% (満足・やや満足合算) | 59.3% (満足・やや満足合算) | 115.1% |
| 図書館職員の待遇について (来館者アンケートより) | 58.4% (満足・やや満足合算) | 57.4% (満足・やや満足合算) | 98.2% |
| 不適正な利用者への対応について (来館者アンケートより) | 33.6% (満足・やや満足合算) | 35.2% (満足・やや満足合算) | 104.7% |

- ・座席数の減少を解消すべく、空きスペースに長机と椅子を配置し臨時の閲覧席として活用したことにより席数に関する不満の声はなかった。
- ・始業前には利用者が使用するPC、館内OPAC、自動貸出機、コピー機の清掃、窓口カウンターの清拭を行うとともに、1日4回の書架整理を実施し、館内美化と整理整頓に努めている。
- ・大声を上げる等他の利用者の迷惑となる行為については積極的に注意し、こちらの要請に従わない場合は退館を求める等、館内秩序の維持に努めた。
- ・職員の待遇については、カウンターでの接客を通して指導改善を行ったが、職員の挙動に関するクレームにつながってしまった事例があり、効果が及ばない点があった。



館内美化に関する館内の状況



館内美化に関する館内の状況

| 令和4年度取組みの実施状況 「利用者が安全安心して利用できる図書館づくり」 | | | |
|---------------------------------------|----------------------|----------------------|--------|
| 取組みに関する指標 | R3 | R4 | 前年比 |
| 【再掲】図書館内の居心地に対する満足度(来館者アンケートより) | 51.5% (満足・やや満足合算) | 59.3% (満足・やや満足合算) | 115.1% |
| 図書館の施設や設備について (来館者アンケートより) | 50.5% (満足・やや満足合算) | 57.4% (満足・やや満足合算) | 113.6% |

- ・施設の安全面では、点検項目を設けて館内を定期的に巡回し、異常が生じた場合は建物の施設担当者に速やかに連絡し、修繕等の対策を施した。
- ・職員総出の避難訓練を行い、災害時の避難通路の確保や役割分担を明確にした。
- ・放課後から夕刻にかけて児童の単独利用や少人数での利用が多いことから、その時間帯の館内巡回を強化した。
- ・防犯等の視点から、書棚の一部を移動しカウンターから見通せる範囲を広げた。

令和4年度の取組みに対する自己評価

「利用者満足の高い図書館サービスの実施」

- ・来館者が利用するPCの定期的な清掃や、書架整理を日ごろから行い、利用者からは問題とする指摘はなく、来館者アンケートでも居心地に対する満足度向上の一助となっているのではないかと考える。
- ・来館者アンケートでは閲覧席の増加を望む声が多く、その中で新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら、施設の空いているスペースを有効活用して臨時的閲覧席を設けるなど、利用者満足度の維持向上を図ることができた。
- ・館内秩序の維持に努め、来館者アンケートでは不適正な利用者への対応に関する満足度が、令和3年度に比べて向上することができた。
- ・職員の接遇について、概ね良好であったが、一部職員の業務従事時の挙動が利用者からのクレームにつながる事例があり、来館者の満足度も令和3年度に比べて減少してしまった。今後は、利用者の視点にたった丁寧な接遇を心掛け、利用者から信頼を得られるように取組んでいく。

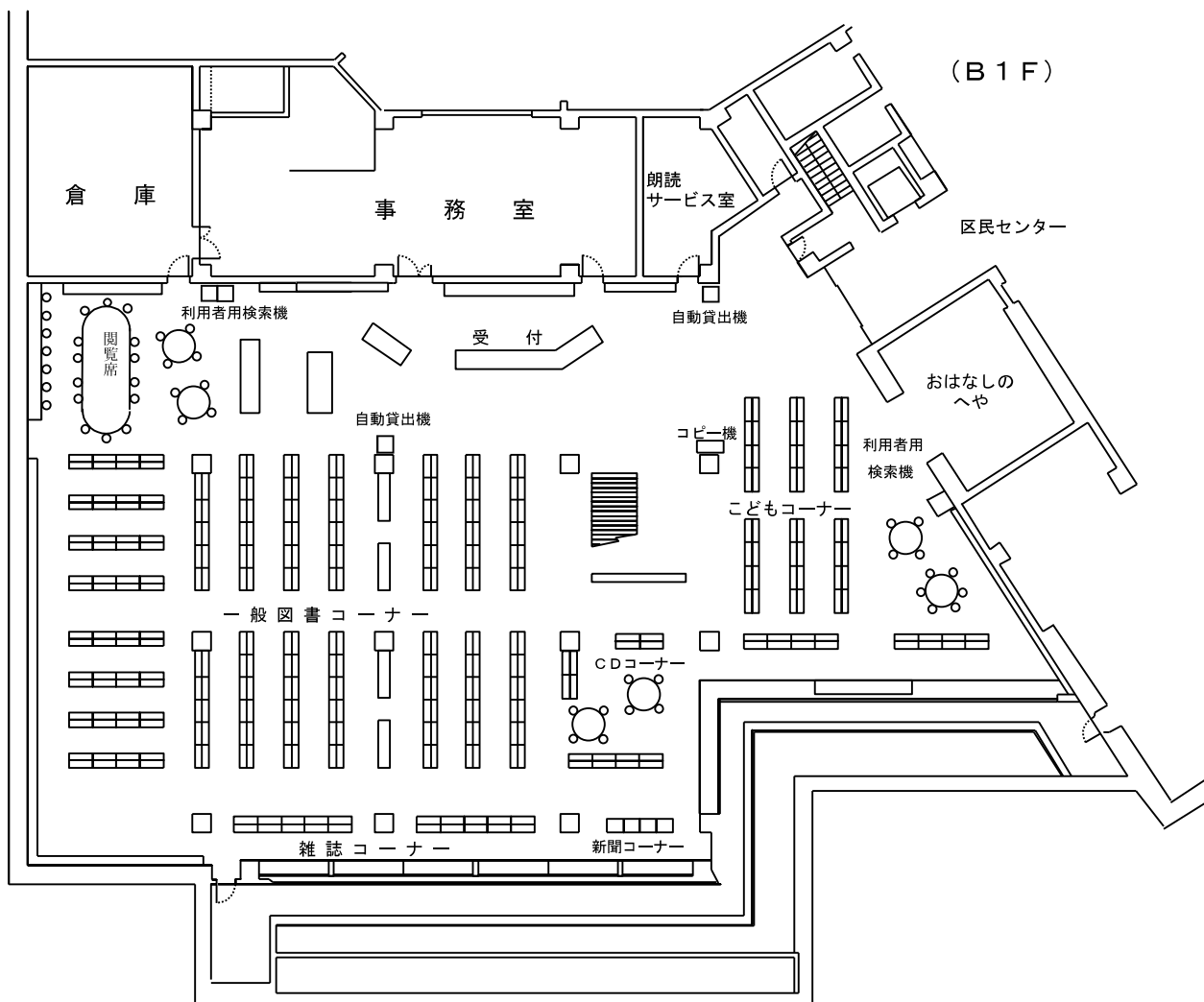
「利用者が安全安心して利用できる図書館づくり」

- ・職員が館内を定時、更に必要に応じ随時巡回することにより施設の状態を把握、建付け等の不具合を発見し早めの対処をすることができた。来館者アンケートでも施設や設備に関する満足度が令和3年度に比べて向上できている。また巡回は不審者等に対する防犯の効果もあったと考えている。
- ・避難訓練の実施などを通して、常日頃から職員の危機管理の意識をもって、職務にあたることができている。今後も利用者が安心して図書館に来館していただける図書館づくりを行っていく。

図書館運営協議会からの意見・提案

(1 4) 鎌田図書館

開 設 平成 1 0 年 6 月 7 日
 所在地 鎌 田 3 - 3 5 - 1
 複合施設名称 『鎌田区民センター』
 構 造 鉄筋コンクリート地上 3 階地下 1 階建
 (図書館は地下 1 階部分)
 床面積 1, 0 7 6 m² (図書館部分)
 対面朗読室 1 室
 閲覧席 3 5 席 (パソコン利用可能席 : 7 席、コンセント口数 : 8)
 資料数 図書資料 1 0 6, 0 9 8
 音響資料 4, 0 3 1
 合 計 1 1 0, 1 2 9



世田谷区立図書館の特色等一覧表（地域特性・独自の取組み・強みなど）

| No | 図書館名 | 特色（地域特性・独自の取組み・強みなど） |
|----|--------|--|
| 1 | 梅丘図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・梅ヶ丘駅徒歩5分、梅まつりやプレーパークで有名な8万㎡を超える羽根木公園内に位置しており、駅前には商店街、近隣には「うめとぴあ」や特別支援学校、児童相談所など医療・福祉関連の施設があり、地域資源が豊富で、自然あふれる立地環境である。 ・「福祉のまち 梅丘」地域にある図書館として、障害者・高齢者・子育て家庭等に関連する健康・医療・子育て情報を発信している。 ・梅丘図書館で活動するボランティア団体が制作する布絵本を、世田谷区内の図書館で唯一所蔵、貸出を行っている。 ・閲覧席数が地域図書館としては最多数であり、多くの利用者が読書や勉強など様々な用途で利用している。 ・建物の老朽化により、令和5年11月から改築工事を実施する予定である（令和8年2月開館予定）。開館までの間は仮事務所で貸出・返却等を行っている。 |
| 2 | 世田谷図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・幕末維新ゆかりの地に立地し、名所旧跡や地元商店街活動との関係性を期待できる。（文化） ・古くから地元で親しまれる世田谷線に接する唯一の図書館である。（交通） ・世田谷地域の乳幼児健診会場として図書館的な子育て支援と情報発信をしやすい。（子育て） ・国士館大学に近く、学術的な支援を得ながら、大学の研究実践の場として貢献できる。（学び） ・区役所本庁舎に近く、身近な行政支援・レファレンスなどの連携性を期待できる。（行政） ・地元商店街の店並びが急速に変化し、新たな地域コミュニティ振興の可能性もある。（産業） ・非常に多くの公務員が集約されて勤める官公署エリアでもある。（勤労者） |
| 3 | 砧図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・単独館であること。 3か所のまちづくりセンターや周辺の学校等地域と連携協力体制がとりやすい。 2階に児童書と子どもスペースを設けていることで大人と子どもの住み分けができています。 児童書および児童スペースが充実している。 読書活動団体が利用できる集会・会議スペースを設けていて、図書館事業もやりやすい。 読書活動団体が構成した利用者懇談会を開催し、共催でとしょかんまつりを毎年実施している。 1階に配架している実用書はNDCによらない独自の分類をとって書店のように探しやすい。 ・ウルトラマン商店街のはずれに位置していることからウルトラマンコーナーを設置している。 ・障害者が働いている福祉喫茶を併設している。 |
| 4 | 奥沢図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷の奥座敷と呼ばれる落ち着いた穏やかな町並みとわがまちを愛する地区活動が盛んな地域 ・地域団体の協力により奥沢地域の歴史資料や写真等の展示コーナーを設けている ・全体のスペースに対して比較的多く閲覧席を設けておりゆっくりと読書ができる |
| 5 | 玉川台図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・瀬田、用賀地域に関わる資料を積極的に収集し、地域コーナーとして常設している。 ・世田谷美術館と事業運営に関する協定を平成23年から結んでいて、世田谷美術館コレクションコーナーを設けている。 ・大人の朗読会に早くから取り組み、現在も継続させている。 ・区民センター、児童館との複合施設故、協力して地域に根差したイベント等に取り組んでいる。 ・図書館カウンター二子玉川の親館としてバックアップしている。 ・図書館アンケートの「図書館職員の接遇について」で地域館のなかで満足度が一番高い。（R3 満足・やや満足 76.7% R4 満足 60.6%） |
| 6 | 代田図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・新代田駅徒歩1分に位置しており、区内で一番駅から近い図書館であるため、利便性が高い。 ・下北沢がすぐ隣にあり、演劇・下北沢・鉄道に関する資料を積極的に収集している。 ・地名の由来となったダイダラボッチの話が伝わっていることから、昔話や民話を集めたコーナーを児童書架に設置している。 ・下北沢駅徒歩3分の「ミカン下北」に立地する「図書館カウンター下北沢」の管理を行っている。 |
| 7 | 烏山図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・千歳烏山駅徒歩1分の位置にある利便性と、烏山区民センター前広場で地域のイベントが積極的に開催されるなど年間を通し常に賑わいがあることから、図書館利用者数が非常に多い図書館である。 ・近隣の障害がある方が働く施設で作られた自主生産品の展示・販売を行っている。 ・地域資料架に烏山コーナーを設置し、烏山寺町や甲州街道についての資料を集めている。 |

世田谷区立図書館の特色等一覧表（地域特性・独自の取組み・強みなど）

| No | 図書館名 | 特色（地域特性・独自の取組み・強みなど） |
|----|--------|---|
| 8 | 下馬図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・都営住宅に囲まれた公園の一角に位置しており、立地環境から高齢者と子育て世代の利用が多い。 ・三軒茶屋駅を中心に飲食店・ショップが多数存在し、若年層を中心に賑わう地域と隣接している。 ・近隣には区の公共施設、資料館、シアター、また小中学校、大学等が多数存在しており、多様な文化学習資源に恵まれた地域である。 ・世田谷区立図書館の中では数少ない図書館単独の施設であり、「図書館」としての有用性と独自性の発揮が期待されている。 ・下馬という地名につながる「源頼朝」関連図書を、地域の特色ある資料として収集している。 |
| 9 | 深沢図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅から離れた住宅街にあり、地元住民の利用が多い。 ・児童文学作家の中川李枝子氏の著作を集めた「ぐりとぐらコーナー」がある。中川氏は令和4年10月に世田谷区の名誉区民に顕彰された。 ・図書館のある建物に深沢区民センター・深沢児童館があり、共催で行事を開催している。 |
| 10 | 桜丘図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性として、近隣に在住していた俳優の森繁久彌氏に関する資料を集めたコーナーを設置している。定期的に主演映画の上映会や講演会を行っている。 ・経堂地区の認知症希望条例アクションチームに参加しており、「認知症の人にやさしい図書館」の取り組みをすすめていく。 ・希望ヶ丘団地内にある希望丘図書室を管理しており、地域の事業に協力している。 |
| 11 | 尾山台図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ライトノベルのコーナーを設けている。 ・採光が良くスタンドガラスが設置されている。通路が広く書架の間を移動し易い。 ・駅徒歩3分で商店街の中という利用し易い立地にある。 |
| 12 | 上北沢図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅近（徒歩5分）の閑静な住宅地にある。館内が広く、落ち着いて過ごすことができる。 ・利用者満足度が高い図書館である（令和4年度利用者アンケート 全体的満足度78.7%）。 ・近くに都立松沢病院があることを踏まえ、心と体の健康に関する資料所蔵に重点を置き、入口のすぐそばにコーナーを設けている。 ・賀川豊彦（社会活動家）に関する資料の収集や、地域在住作家の影絵作品の展示などを通して、地域との連携を図っている。 |
| 13 | 粕谷図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・京王線千歳烏山駅から南へ徒歩10分程度にあり、周囲は閑静な住宅地に囲まれた隠れ家的な図書館である。 ・明治・大正期の文豪、徳富蘆花が後半生を過ごした地となる蘆花恒春園と近接しており、同作家の作品を集めた『徳富蘆花コーナー』を設け資料の収集、展示をしている。 ・徳富蘆花の著書『みみずのたはごと』では当時の自然豊かな粕谷地域の生活風景が描かれており、都立芦花公園の花の丘にも因んで、花や虫に関する本を充実させ、生きものや命の大切さの学びに資している。 |
| 14 | 鎌田図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・成城と二子玉川の間に位置しており、駅からの利便性はよくない。 ・利用は地元の方が中心であり、身近な図書館という意識が強く満足度も高い。 ・この地域は住戸の建設が続いていることから引越してきた家族等の利用が多い。 ・小中学校と隣接していることから児童、学生の利用が多い。 ・付近に位置する静嘉堂文庫や民家園に関するコーナーの展示を実施。 |
| 15 | 経堂図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・小田急線経堂駅の高架下であり駅から徒歩1分でほぼ雨に濡れずに来館できる。 ・ビジネス資料や就職支援に特化した資料を収集しているビジネスコーナーがある。 ・座席予約システムによって効率よく座席が利用できるビジネス閲覧席がある。 ・ビジネス本の要約サービス「flier」をビジネスコーナーで利用できる。 ・障害者施設自主生産品「はっぴいハンドメイド」の製品の一部を購入できる。 ・感染症予防にも効果があり安心・安全な読書を助ける図書除菌機がある。 |
| 16 | 中央図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・保存庫と合わせて50万冊の図書と1000タイトルの雑誌を所蔵している。 ・長谷川町子作品及び関係する資料を配架し、関連する展示を行っている。 ・プラネタリウムを併設し、関連した資料の展示やイベントなどを実施している。 |

VII 令和4年度事業実績等

1. 令和4年度事業実績

(1) 資料数・登録者数・貸出数等の館別一覧

(令和5年3月31日現在)

| | 図書館 | | | | | | | | | | | | | | 図書室 | | | | | | カウンター | | | 図書館・図書室・カウンター計 | 団体貸出センター | 合計 | | | | |
|------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|----------------|----------|---------|---------|-----------|--------|-----------|
| | 中央 | | | 梅丘 | 世田谷 | 砧 | 奥沢 | 玉川台 | 代田 | 烏山 | 下馬 | 深沢 | 桜丘 | 尾山台 | 上北沢 | 粕谷 | 鎌田 | 経堂 | 池尻 | 希望丘 | 野毛 | 松沢 | 喜多見 | | | | 二子玉川 | 三軒茶屋 | 下北沢 | |
| | 本館 | 保存庫 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資料数 | 一般図書資料 | 234,328 | 188,146 | 422,474 | 68,176 | 80,572 | 80,242 | 51,921 | 66,121 | 61,675 | 68,338 | 57,560 | 52,790 | 62,971 | 63,690 | 60,444 | 72,464 | 79,588 | 59,785 | 11,785 | 11,958 | 9,516 | 9,233 | 12,478 | - | - | - | 1,463,781 | 0 | 1,463,781 |
| | 児童図書資料 | 47,736 | 16,085 | 63,821 | 22,330 | 25,210 | 30,579 | 18,835 | 24,874 | 19,676 | 26,847 | 22,795 | 26,045 | 25,977 | 25,068 | 20,572 | 24,624 | 25,935 | 23,650 | 7,931 | 8,584 | 7,203 | 5,525 | 8,993 | - | - | - | 465,074 | 82,175 | 547,249 |
| | 大活字本 | 1,357 | 4 | 1,361 | 769 | 372 | 490 | 630 | 268 | 366 | 440 | 695 | 511 | 751 | 519 | 273 | 454 | 561 | 145 | 4 | 111 | 3 | 2 | 0 | - | - | - | 8,725 | 0 | 8,725 |
| | デジタル資料 | 1,011 | 3 | 1,014 | 16 | 15 | 26 | 10 | 25 | 25 | 11 | 24 | 10 | 17 | 14 | 18 | 13 | 14 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 1,265 | 0 | 1,265 |
| | 図書資料計 | 284,432 | 204,238 | 488,670 | 91,291 | 106,169 | 111,337 | 71,396 | 91,288 | 81,742 | 95,636 | 81,074 | 79,356 | 89,716 | 89,291 | 81,307 | 97,555 | 106,098 | 83,593 | 19,720 | 20,653 | 16,722 | 14,760 | 21,471 | - | - | - | 1,938,845 | 82,175 | 2,021,020 |
| | CD | 8,753 | 0 | 8,753 | 1,908 | 3,008 | 3,038 | 2,553 | 3,535 | 3,024 | 3,605 | 5,176 | 2,638 | 2,460 | 3,823 | 2,796 | 3,775 | 4,031 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 54,123 | 0 | 54,123 |
| | カセット | 172 | 0 | 172 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 172 | 0 | 172 |
| | 音響資料計 | 8,925 | 0 | 8,925 | 1,908 | 3,008 | 3,038 | 2,553 | 3,535 | 3,024 | 3,605 | 5,176 | 2,638 | 2,460 | 3,823 | 2,796 | 3,775 | 4,031 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 54,295 | 0 | 54,295 |
| | 録音図書 | 4,844 | 0 | 4,844 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 4,844 | 0 | 4,844 |
| | 点字本 | 4,877 | 0 | 4,877 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 4,877 | 0 | 4,877 |
| | 障サ資料計 | 9,721 | 0 | 9,721 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 9,721 | 0 | 9,721 |
| | 合計 | 303,078 | 204,238 | 507,316 | 93,199 | 109,177 | 114,375 | 73,949 | 94,823 | 84,766 | 99,241 | 86,250 | 81,994 | 92,176 | 93,114 | 84,103 | 101,330 | 110,129 | 83,593 | 19,720 | 20,653 | 16,722 | 14,760 | 21,471 | - | - | - | 2,002,861 | 82,175 | 2,085,036 |
| | 雑誌・タイトル数 | 777 | 989 | - | 186 | 183 | 316 | 178 | 137 | 183 | 188 | 186 | 183 | 166 | 207 | 175 | 132 | 196 | 146 | 27 | 43 | 31 | 38 | 45 | - | - | - | - | - | - |
| 登録者数 | 一般 | 30,163 | - | 30,163 | 11,080 | 13,967 | 19,947 | 8,148 | 8,530 | 9,817 | 17,885 | 10,043 | 7,328 | 9,064 | 12,649 | 8,581 | 7,006 | 5,456 | 21,883 | 1,932 | 1,360 | 458 | 1,932 | 1,530 | 4,216 | 3,625 | 1,737 | 218,337 | - | 218,337 |
| | 児童 | 4,686 | - | 4,686 | 1,486 | 2,443 | 4,383 | 1,397 | 2,818 | 1,924 | 2,575 | 2,655 | 2,320 | 2,371 | 2,934 | 1,819 | 2,732 | 2,182 | 2,839 | 348 | 577 | 184 | 316 | 456 | 339 | 165 | 61 | 44,010 | - | 44,010 |
| | 個人合計 | 34,849 | - | 34,849 | 12,566 | 16,410 | 24,330 | 9,545 | 11,348 | 11,741 | 20,460 | 12,698 | 9,648 | 11,435 | 15,583 | 10,400 | 9,738 | 7,638 | 24,722 | 2,280 | 1,937 | 642 | 2,248 | 1,986 | 4,555 | 3,790 | 1,798 | 262,347 | - | 262,347 |
| | (内書)障サ | 42 | - | 42 | 18 | 29 | 26 | 38 | 20 | 31 | 30 | 20 | 26 | 35 | 28 | 29 | 31 | 41 | 21 | - | - | - | - | - | - | - | - | 465 | - | 465 |
| | 団体 | 73 | - | 73 | 22 | 29 | 69 | 27 | 11 | 21 | 19 | 28 | 16 | 14 | 26 | 16 | 24 | 15 | 31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 443 | 81 | 524 |
| 貸出数 | 一般図書資料 | 387,947 | 4,974 | 392,921 | 168,760 | 229,766 | 363,591 | 120,972 | 190,749 | 144,479 | 290,960 | 116,189 | 143,305 | 172,669 | 193,023 | 145,926 | 170,944 | 98,002 | 386,092 | 38,357 | 55,657 | 17,238 | 56,652 | 49,904 | 115,608 | 136,682 | 79,448 | 3,877,894 | - | 3,877,894 |
| | 児童資料 | 268,594 | 437 | 269,031 | 91,370 | 156,340 | 246,773 | 66,839 | 172,525 | 97,986 | 155,695 | 119,941 | 147,536 | 129,641 | 152,163 | 80,086 | 128,872 | 112,906 | 189,434 | 30,758 | 64,268 | 14,552 | 40,369 | 52,078 | 46,541 | 47,088 | 34,472 | 2,647,264 | - | 2,647,264 |
| | 大活字本 | 1,716 | 1 | 1,717 | 641 | 544 | 900 | 800 | 392 | 645 | 956 | 943 | 530 | 878 | 334 | 309 | 350 | 275 | 595 | 10 | 455 | 7 | 57 | 37 | 70 | 218 | 90 | 11,753 | - | 11,753 |
| | デジタル資料 | 12 | 0 | 12 | 7 | 0 | 10 | 4 | 2 | 4 | 9 | 4 | 7 | 4 | 14 | 9 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 3 | 100 | - | 100 |
| | 図書資料計 | 658,269 | 5,412 | 663,681 | 260,778 | 386,650 | 611,274 | 188,615 | 363,668 | 243,114 | 447,620 | 237,077 | 291,378 | 303,192 | 345,534 | 226,330 | 300,169 | 211,185 | 576,121 | 69,125 | 120,381 | 31,797 | 97,078 | 102,020 | 162,221 | 183,990 | 114,013 | 6,537,011 | - | 6,537,011 |
| | 雑誌 | 36,474 | 2,508 | 38,982 | 12,403 | 13,305 | 27,303 | 12,648 | 20,026 | 10,948 | 18,134 | 13,948 | 12,308 | 16,256 | 14,407 | 13,637 | 13,550 | 11,580 | 34,601 | 3,456 | 5,558 | 3,016 | 5,198 | 6,353 | 9,570 | 6,140 | 2,886 | 326,213 | - | 326,213 |
| | CD | 17,224 | - | 17,224 | 8,447 | 9,314 | 19,285 | 7,234 | 9,830 | 9,323 | 16,040 | 7,657 | 6,909 | 11,837 | 10,285 | 8,845 | 9,206 | 5,239 | 11,170 | 1,099 | 1,759 | 1,078 | 1,703 | 2,682 | 7,014 | 5,795 | 5,486 | 194,461 | - | 194,461 |
| | カセット | 31 | - | 31 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35 | - | 35 |
| | 音響資料計 | 17,255 | - | 17,255 | 8,447 | 9,318 | 19,285 | 7,234 | 9,830 | 9,323 | 16,040 | 7,657 | 6,909 | 11,837 | 10,285 | 8,845 | 9,206 | 5,239 | 11,170 | 1,099 | 1,759 | 1,078 | 1,703 | 2,682 | 7,014 | 5,795 | 5,486 | 194,496 | - | 194,496 |
| | 録音図書 | 1,174 | - | 1,174 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,361 | - | 1,361 |
| | 点字本 | 24 | - | 24 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25 | - | 25 |
| | 障サ資料計 | 1,198 | - | 1,198 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,386 | - | 1,386 |
| | 合計 | 713,196 | 7,920 | 721,116 | 281,631 | 409,273 | 657,862 | 208,497 | 393,524 | 263,385 | 481,794 | 258,682 | 310,595 | 331,285 | 370,411 | 248,812 | 322,925 | 228,004 | 621,892 | 73,680 | 127,698 | 35,891 | 103,979 | 111,055 | 178,805 | 195,925 | 122,385 | 7,059,106 | - | 7,059,106 |
| | 団体貸出 | 2,555 | 2,767 | 5,322 | 1,412 | 1,481 | 2,163 | 1,410 | 1,911 | 1,039 | 923 | 1,207 | 779 | 1,461 | 3,640 | 1,510 | 995 | 665 | 1,918 | 69 | 17 | 29 | 9 | 597 | 434 | 284 | 8 | 29,283 | 43,034 | 72,317 |
| | 予約受付数 | 190,820 | - | 190,820 | 94,328 | 99,286 | 237,372 | 91,063 | 128,997 | 79,385 | 189,107 | 80,605 | 92,408 | 110,276 | 137,290 | 78,836 | 96,604 | 57,488 | 264,012 | 31,414 | 46,167 | 12,929 | 52,503 | 45,340 | 161,123 | 163,889 | 103,149 | 2,644,391 | 955 | 2,645,346 |
| | コピー | 80,318 | - | 80,318 | 18,405 | 17,160 | 31,300 | 14,666 | 8,733 | 6,970 | 22,374 | 9,304 | 12,596 | 7,616 | 20,805 | 14,031 | 9,828 | 6,021 | 38,065 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 318,192 | - | 318,192 |

Ⅶ 令和3年度年度事業実績等

1. 令和3年度事業実績

(1) 資料数・登録者数・貸出数等の館別一覧

(令和4年3月31日現在)

| | 図書館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 図書室 | | | | | カウンター | | | 図書館・図書室・カウンター計 | 団体貸出センター | 合計 | |
|------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|-----|----------------|----------|-----------|--------|
| | 中央 | | | 梅丘 | 世田谷 | 砧 | 奥沢 | 玉川台 | 代田 | 烏山 | 下馬 | 深沢 | 桜丘 | 尾山台 | 上北沢 | 粕谷 | 鎌田 | 経堂 | 池尻 | 希望丘 | 野毛 | 松沢 | 喜多見 | 二子玉川 | 三軒茶屋 | 下北沢 | | | | | |
| | 本館 | 保存庫 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資料数 | 一般図書資料 | 232,373 | 200,390 | 432,763 | 65,920 | 78,625 | 77,776 | 50,338 | 65,229 | 60,539 | 68,114 | 58,315 | 53,810 | 63,047 | 63,703 | 58,473 | 71,942 | 77,915 | 58,831 | 11,378 | 11,771 | 9,561 | 8,452 | 13,447 | - | - | - | 1,459,949 | 0 | 1,459,949 | |
| | 児童図書資料 | 45,489 | 15,547 | 61,036 | 21,558 | 24,235 | 29,951 | 18,126 | 26,061 | 18,961 | 27,080 | 22,252 | 25,463 | 24,516 | 25,133 | 21,242 | 24,323 | 24,803 | 22,445 | 7,786 | 8,349 | 7,150 | 4,844 | 9,039 | - | - | - | 454,353 | 85,286 | 539,639 | |
| | 大活字本 | 1,436 | 4 | 1,440 | 839 | 377 | 496 | 679 | 260 | 378 | 467 | 755 | 533 | 834 | 583 | 312 | 423 | 582 | 165 | 4 | 80 | 4 | 2 | 2 | - | - | - | 9,215 | 0 | 9,215 | |
| | デジタル資料 | 920 | 3 | 923 | 16 | 15 | 26 | 11 | 25 | 25 | 12 | 24 | 14 | 17 | 14 | 18 | 13 | 18 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 1,184 | 0 | 1,184 | |
| | 図書資料計 | 280,218 | 215,944 | 496,162 | 88,333 | 103,252 | 108,249 | 69,154 | 91,575 | 79,903 | 95,673 | 81,346 | 79,820 | 88,414 | 89,433 | 80,045 | 96,701 | 103,318 | 81,454 | 19,168 | 20,200 | 16,715 | 13,298 | 22,488 | - | - | - | 1,924,701 | 85,286 | 2,009,987 | |
| | CD | 9,061 | 0 | 9,061 | 1,849 | 2,917 | 3,138 | 2,651 | 3,538 | 2,946 | 3,776 | 5,321 | 2,598 | 2,475 | 3,779 | 2,999 | 3,744 | 4,064 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 54,856 | 0 | 54,856 |
| | カセット | 173 | 0 | 173 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 173 | 0 | 173 | |
| | 音響資料計 | 9,234 | 0 | 9,234 | 1,849 | 2,917 | 3,138 | 2,651 | 3,538 | 2,946 | 3,776 | 5,321 | 2,598 | 2,475 | 3,779 | 2,999 | 3,744 | 4,064 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 55,029 | 0 | 55,029 |
| | 録音図書 | 4,263 | 0 | 4,263 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 4,263 | 0 | 4,263 | |
| | 点字本 | 4,813 | 0 | 4,813 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 4,813 | 0 | 4,813 | |
| | 障サ資料計 | 9,076 | 0 | 9,076 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 9,076 | 0 | 9,076 | |
| | 合計 | 298,528 | 215,944 | 514,472 | 90,182 | 106,169 | 111,387 | 71,805 | 95,113 | 82,849 | 99,449 | 86,667 | 82,418 | 90,889 | 93,212 | 83,044 | 100,445 | 107,382 | 81,454 | 19,168 | 20,200 | 16,715 | 13,298 | 22,488 | - | - | - | 1,988,806 | 85,286 | 2,074,092 | |
| | 雑誌・タイトル数 | 818 | 996 | - | 179 | 182 | 314 | 174 | 136 | 180 | 182 | 185 | 180 | 161 | 201 | 175 | 131 | 189 | 149 | 32 | 44 | 30 | 38 | 46 | - | - | - | - | - | - | |
| 登録者数 | 一般 | 30,800 | - | 30,800 | 11,370 | 13,604 | 20,278 | 8,514 | 8,561 | 10,092 | 18,353 | 10,201 | 7,394 | 9,274 | 12,864 | 8,779 | 6,995 | 5,497 | 22,147 | 1,912 | 1,187 | 436 | 1,287 | 1,471 | 4,457 | 3,636 | 136 | 219,245 | - | 219,245 | |
| | 児童 | 4,731 | - | 4,731 | 1,496 | 2,358 | 4,391 | 1,384 | 2,920 | 1,929 | 2,682 | 2,716 | 2,348 | 2,419 | 2,933 | 1,862 | 2,754 | 2,158 | 2,902 | 337 | 499 | 171 | 161 | 504 | 342 | 162 | 5 | 44,164 | - | 44,164 | |
| | 個人合計 | 35,531 | - | 35,531 | 12,866 | 15,962 | 24,669 | 9,898 | 11,481 | 12,021 | 21,035 | 12,917 | 9,742 | 11,693 | 15,797 | 10,641 | 9,749 | 7,655 | 25,049 | 2,249 | 1,686 | 607 | 1,448 | 1,975 | 4,799 | 3,798 | 141 | 263,409 | - | 263,409 | |
| | (内書)障サ | 39 | - | 39 | 19 | 28 | 24 | 40 | 16 | 28 | 29 | 30 | 27 | 33 | 25 | 41 | 34 | 40 | 21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 474 | - | 474 | |
| | 団体 | 70 | - | 70 | 18 | 30 | 70 | 22 | 8 | 15 | 17 | 32 | 10 | 11 | 22 | 15 | 23 | 14 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 410 | 68 | 478 | |
| 貸出数 | 一般図書資料 | 385,682 | 5,133 | 390,815 | 168,438 | 219,648 | 359,122 | 118,136 | 191,760 | 175,646 | 273,649 | 109,018 | 140,892 | 172,199 | 173,976 | 139,756 | 155,667 | 65,825 | 378,023 | 39,988 | 49,108 | 17,855 | 56,390 | 52,741 | 115,178 | 139,326 | 60 | 3,703,215 | - | 3,703,215 | |
| | 児童資料 | 272,141 | 473 | 272,614 | 96,371 | 153,928 | 244,060 | 66,464 | 178,626 | 107,822 | 144,876 | 117,099 | 143,065 | 138,980 | 133,045 | 82,772 | 121,016 | 65,562 | 190,274 | 34,323 | 57,996 | 17,060 | 41,332 | 58,374 | 56,169 | 56,805 | 27 | 2,578,660 | - | 2,578,660 | |
| | 大活字本 | 2,112 | 0 | 2,112 | 794 | 721 | 1,260 | 861 | 552 | 494 | 648 | 572 | 369 | 1,030 | 305 | 526 | 436 | 294 | 723 | 25 | 184 | 15 | 83 | 25 | 160 | 255 | 0 | 12,444 | - | 12,444 | |
| | デジタル資料 | 12 | 0 | 12 | 2 | 4 | 40 | 4 | 6 | 3 | 4 | 11 | 7 | 9 | 3 | 6 | 3 | 0 | 46 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 5 | 1 | 0 | 169 | - | 169 | |
| | 図書資料計 | 659,947 | 5,606 | 665,553 | 265,605 | 374,301 | 604,482 | 185,465 | 370,944 | 283,965 | 419,177 | 226,700 | 284,333 | 312,218 | 307,329 | 223,059 | 277,122 | 131,681 | 569,066 | 74,336 | 107,288 | 34,933 | 97,805 | 111,140 | 171,512 | 196,387 | 87 | 6,294,488 | - | 6,294,488 | |
| | 雑誌 | 36,558 | 2,702 | 39,260 | 13,066 | 13,240 | 27,586 | 12,585 | 20,349 | 12,820 | 19,033 | 12,602 | 12,959 | 17,489 | 13,294 | 14,338 | 14,243 | 5,091 | 33,121 | 4,065 | 5,105 | 3,305 | 5,184 | 7,512 | 9,466 | 6,958 | 0 | 322,671 | - | 322,671 | |
| | CD | 17,983 | - | 17,983 | 9,371 | 9,440 | 21,762 | 8,173 | 10,123 | 12,166 | 17,198 | 8,860 | 8,118 | 12,277 | 9,593 | 8,270 | 9,246 | 3,490 | 12,215 | 1,190 | 1,513 | 460 | 2,411 | 2,412 | 8,810 | 6,614 | 1 | 201,696 | - | 201,696 | |
| | カセット | 27 | - | 27 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28 | - | 28 | |
| | 音響資料計 | 18,010 | - | 18,010 | 9,371 | 9,441 | 21,762 | 8,173 | 10,123 | 12,166 | 17,198 | 8,860 | 8,118 | 12,277 | 9,593 | 8,270 | 9,246 | 3,490 | 12,215 | 1,190 | 1,513 | 460 | 2,411 | 2,412 | 8,810 | 6,614 | 1 | 201,724 | - | 201,724 | |
| | 録音図書 | 661 | - | 661 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 69 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 730 | - | 730 | |
| | 点字本 | 18 | - | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | - | 18 | |
| | 障サ資料計 | 679 | - | 679 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 69 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 748 | - | 748 | |
| | 合計 | 715,194 | 8,308 | 723,502 | 288,042 | 396,982 | 653,830 | 206,223 | 401,416 | 308,951 | 455,408 | 248,162 | 305,410 | 341,984 | 330,285 | 245,667 | 300,611 | 140,262 | 614,402 | 79,591 | 113,906 | 38,698 | 105,400 | 121,064 | 189,788 | 209,959 | 88 | 6,819,631 | - | 6,819,631 | |
| | 団体貸出 | 2,582 | 2,855 | 5,437 | 1,522 | 1,438 | 1,603 | 1,502 | 1,290 | 706 | 845 | 1,195 | 365 | 1,717 | 2,106 | 817 | 668 | 1,706 | 1,329 | 1 | 0 | 54 | 21 | 422 | 155 | 359 | 0 | 25,258 | 44,034 | 69,292 | |
| | 予約受付数 | 206,503 | - | 206,503 | 107,200 | 107,096 | 251,212 | 104,898 | 135,735 | 115,571 | 194,004 | 88,041 | 97,951 | 124,943 | 146,888 | 83,175 | 103,937 | 84,375 | 277,492 | 38,358 | 44,375 | 13,350 | 51,316 | 49,602 | 170,742 | 177,385 | 781 | 2,754,970 | 1,177 | 2,756,147 | |
| | コピー | 80,962 | - | 80,962 | 10,257 | 14,699 | 28,173 | 10,110 | 8,414 | 6,577 | 17,198 | 9,969 | 8,932 | 7,461 | 15,500 | 14,094 | 11,062 | 572 | 32,941 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 276,921 | - | 276,921 | |

世田谷区立図書館 位置図

